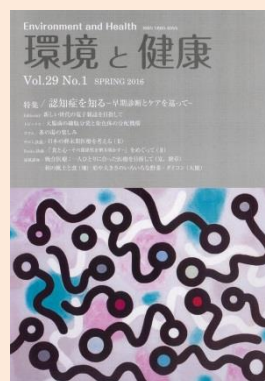
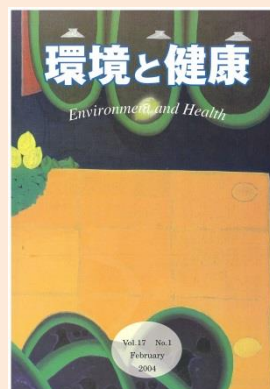
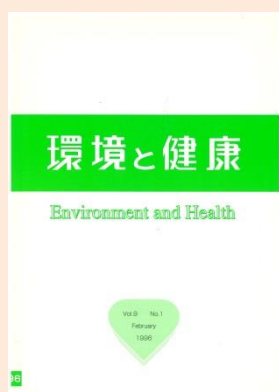


公益財団法人 体質研究会 発行
定期刊行準学術雑誌

環境と健康

全巻総合目次
1 巻～30 巻
(1988～2017)



環境と健康 全巻（1－30 巻）総目次

Vol. 1 1988 年

巻・号・頁

【発刊の辞】	菅原 努	1-1- 01
--------	------	---------

【論説】

社会環境—もう一つの環境	菅原 努	1-5- 01
--------------	------	---------

【健康リスクの予知・予防】

インターフェロン不全とその対策	岸田綱太郎	1-1- 16
定期健康診断の効用—原爆被爆者について	岡島俊三ほか	1-2- 42

【老化防御】

老化防御：その原理と方法	菅原 努	1-4- 01
アルツハイマー型痴呆と二次性痴呆の画像解析	松澤大樹	1-3- 32
知的健康度評価のための血清・髄液神経伝達物質関連酵素活性の測定	中村重信	1-3- 33
脳老化の制御	松澤大樹	1-6- 01

【調査報告】

放射線リスクとその認知（リスク検討班）

1. はじめに	1-1- 02
2. リスクの定義	1-1- 03
3. 新技術の導入とリスク	1-1- 05
4. 米英におけるリスク研究の現状	
1) アメリカ：環境問題を中心に	1-1- 06
2) アメリカ：エネルギー政策を中心に	1-1- 07
3) イギリス：王立協会リスク研究班報告	1-1- 08
5. リスクをめぐる話題	
1) リスクの取り上げ方	1-1- 10
2) リスクの今昔	1-1- 12
3) 人生はリスクの連続だ	1-1- 14
6. 一般産業と日常生活のリスク	
1) 日本における死亡のリスク	1-2- 34
2) 通勤災害のリスク	1-2- 35
3) ラドン問題	1-2- 38
4) Ames の言うこと	1-2- 39
5) ライフスタイルと癌	1-2- 41
7. 放射線リスク評価の現状と見通し	
1) 原爆線量再評価	1-3- 20
2) 一回照射と分割照射	1-3- 23
3) 遺伝リスクの取り上げ方	1-3- 25
4) 速中性子の線質係数について	1-3- 27
5) 医療被曝の取り扱い	1-3- 28
6) 生物学的考察	1-3- 29
7) ICRP の考え方	1-3- 30
英国ロイヤルソサエティ報告「Risk Assessment」1983 概要	青山 喬 1-4- 14

【ミニシンポジウム】

「リスク・パーセプションの時代的・文化的背景」

新技術の導入とリスク・パーセプション	城坂俊吉	1-2- 02
リスク・パーセプションの時代史学	阪上正信	1-2- 23

リスク評価・リスク認識とコンピューター	小林定喜	1-3- 01
ハイパーサーミア・代替法をめぐって	菅原 努	1-3- 13

【国際会議】

「エネルギー産生における放射線リスクと先端技術のリスク評価に関する国際会議」に参加して

池淵 誠	1-4- 41
------	---------

【連載講座】

放射線リスク論

まえがきー講座を始めるに当たってー	菅原 努	1-5- 05
1. 放射線についてリスクとは	菅原 努	1-5- 07
2. リスクはどのようにして求めるか	松平寛通	1-5- 14
3. 放射線疫学とは何か、それで何が判るか	加藤寛夫	1-6- 16
4-A. 放射線の身体的リスク	青山 喬	1-6- 30
4-B. 放射線の遺伝的リスク	中井 斌	1-6- 38

Vol. 2 1989 年

巻・号・頁

【論説】

疫学研究の落とし穴	菅原 努	2-1- 01
～コーヒーと膀胱癌、アルコールと乳癌をめぐって～		
紫外線の話 ～重要な環境因子として～	野津敬一	2-2- 01
UVA、UVB、太陽光線と皮膚障害ー第 17 回米国光生物学会の用紙より	野津敬一	2-4- 01

【国際会議】

「エネルギー産生における放射線リスクと先端技術のリスク評価」		2-5/6- 01
第 1 セッション 放射線リスク査定の現状	藤田正一郎	2-5/6- 02
第 2 セッション 広島・長崎の線量とリスクの再評価	岩崎民子	2-5/6- 06
第 3 セッション リスク評価における最近の進歩	二階堂 修	2-5/6- 12
第 4 セッション エネルギー開発と新技術のリスク	秋田康一	2-5/6- 14
第 5 セッション エネルギー生産の発展におけるリスクの解析	阪上正信	2-5/6- 17

【連載講座】

放射線リスク論

5. ヒトの受ける放射線の種類と量	阪上正信	2-1- 05
A 自然放射線	阪上正信	2-1- 06
B 医療放射線	土屋武彦	2-1- 17
C 人口放射線	小林定喜	2-1- 26
6. 公害物質などをリスクの眼で見れば	松平寛通	2-2- 21
7. 種々のエネルギー源のリスクを比べると	秋田康一、青山 喬	2-2- 26
8. 一般産業や日常生活にどんなリスクがあるか	武田篤彦	2-3- 01
9. 医学生物学の進歩とリスク		
A 発癌のメカニズム	横路謙次郎	2-3- 28
B 癌のリスクと放射線生物学	二階堂 修、達家雅明	2-3- 35
10. 最終講 まとめと今後への展望	菅原 努	2-4- 09

【BIO-UPDATE】

癌細胞を自殺させる		2-5/6- 21
オゾン減少と皮膚 DNA の損傷		2-5/6- 24
ストレスを解消するメカニズム		2-5/6- 30
癌細胞はひがみっ子		2-5/6- 34

高等植物の研究に関する話題	2-5/6	37
---------------	-------	----

【新開発品紹介】

新しい BRM としての新漢方生薬 912 資料〈第 1 集〉	鍵谷 勤	2-4	15
---------------------------------	------	-----	----

【サロン談義】

文明よ驕るなかれ	2-1	35
アルミのお鍋はボケを招くか？	2-2	42
聖堂・スパコン・おねえさん	2-3	43
人が殖えるとミミズが殖える？	2-4	24
食品適合不全という奇病	2-5/6	39

【書評】

ヨハン・ビヨルクステン、菅原 努、中村重信、二階堂 修著	野津敬一	2-4	30
『長寿の科学—過去・現在・未来』			

Vol. 3 1990 年

巻・号・頁

【論説】

メラノーマ・この不可解な皮膚がん	野津敬一	3-3	01
放射線の健康影響のグレイゾーン	中井 斌	3-4	01
UVB 紫外線と免疫系	野津敬一	3-4	10
癌の治療と体質の改善（その 1）	鍵谷 勤	3-5	01
日本の癌と治療法			
自然放射線と健康	菅原 努	3-5	07
予防医学の立場からの食効の考え方	菅原 努	3-6	01

【健康リスクの予知・予防】

放射線防護から見たリスクの評価とその知覚に関する調査（2 年間の調査のまとめ）

1) ハイテク時代における自然環境の問題とリスク			
a. 我国に於ける室内ラドン測定の実状	小林定喜	3-1	01
放医研屋内ラドン濃度全国調査プログラム			
b. 室内ラドン測定における問題・トロン寄与？	米原英典	3-1	07
c. 太陽紫外線によるヒト皮膚障害と環境問題	野津敬一	3-1	14
d. 温室効果とオゾンホール	秋葉澄伯	3-1	17
e. ハイテク時代の倫理などをめぐって	阪上正信	3-1	22
2) 反原発における一般大衆の態度構造の実態			
a. 公開パネル討論会開催の趣旨	青山 喬	3-2	01
b. 原子力の PA（パブリック・アクセプタンス）の立場から	浅井信雄	3-2	02
c. 反原発における一般大衆の態度	岩崎民子	3-2	08
d. 反原発の現状とそれにおけるすり替え論	武田篤彦	3-2	12
e. 原子力行政について	土屋武彦	3-2	18
3) 原子力技術に対する態度の構造解析と	木下富雄	3-3	06
リスクコミュニケーションの方策			
4) ミニシンポジウム：リスク評価における直線仮説をめぐって	菅原 努	3-3	19
5) リスク評価とリスク管理における今後の課題（総括）	菅原 努	3-3	24
～一般大衆の正しい理解を得るために～			
6) 結び		3-3	27

【BIO-UPDATE】

食後の満腹感は何によって決まるか	3-1	34
ノルウェーでの緯度依存、太陽誘発 Nonmelanoma 皮膚癌の発生率	3-1	36

激動の1989年—central dogmaの崩壊—	3-1-	41
細胞の分化と癌化を支配するタンパク	3-2-	26
老化と発生初期の胚細胞	3-2-	30
植物を使って抗体を作る	3-3-	28
初期胚細胞と遺伝子操作動物	3-3-	30
皮膚老化の大敵 UVA	3-4-	18
遺伝子の筋注 新しい遺伝子両方？	3-4-	21
X線誘発皮膚がんと太陽紫外線	3-5-	17
太陽紫外線はX線の皮膚がんを助長する		
遺伝子治療と人工器官	3-5-	22
熱ショックタンパクの機能	3-6-	12

【新開発品紹介】

高齢化社会の体力問題—3分間体力測定装置（健康くらぶ）の開発—	万井正人	3-1-	27
ブルガリス—E-25の研究—	大垣昌弘	3-4-	23

【随想】

トンネル顕微鏡で夢も見える	波多野博行	3-6-	14
---------------	-------	------	----

【サロン談義】

糖 ^{まん} 原 ^{じゅう} 励 ^く い、食いすぎ鮮みの韌はめつ	3-1-	44
ラドンてんや&わんや	3-2-	33
卵と虫とT・P・O	3-3-	34
せきめん対策ではセキメンの至り・・・？	3-4-	27
おとめとバラと涙垂れと	3-5-	29
ごんべえと与作とハイテクと	3-6-	23

【書評】

ひろさちや著「どの宗教が役に立つか」	菅原 努	3-5-	25
鈴木孝夫著「武器としてのことば—茶の間の国際情報学」	菅原 努	3-5-	25

Vol. 4 1991 年

巻・号・頁

【論説】

現代養生訓序説	菅原 努	4-1-	01
安全科学への提言—放射線生物学者の立場より	菅原 努	4-2-	01
いわゆる「機能食品」について	木村修一	4-3-	01
ヒトと動物は全く平等か「動物の解放」への反論	武田篤彦	4-4-	01

【がん】

癌の治療と体質の改善			
(2) 増効される放射線治療法	鍵谷 勤	4-1-	12
(3) 細胞障害性制御剤と問題点	鍵谷 勤	4-2-	06
(4) 改良される化学治療法	鍵谷 勤	4-3-	06
(5) 腫瘍生理操作による放射線治療効果の増強法	鍵谷 勤	4-4-	12
これからの温熱治療 腫瘍生理操作による温熱治療効果の増強法	鍵谷 勤	4-6-	01

【研究】

動物細胞における放射線細胞がん化のメカニズム	渡邊正己	4-1-	18
健康リスクの予知指標に関する疫学的研究	奥村 寛ほか3名	4-1-	25
—原爆被爆者の意識・実態調査—			
染色体変異からみたヒト癌の特性といくつかの実験的検討	佐々木正夫	4-3-	12

【UREF】

ユーレフ Urban-Rural Exchange Forum 第一話	菅原 努	4-5- 01
-------------------------------------	------	---------

【BIO-UPDATE】

カビの話	4-1- 34
太陽光は PKC 遺伝子発現を増大させる	4-2- 15
海綿状脳症ーポストエイズの感染症？	4-2- 19
体質と発癌（癌は確率的に生じるのかそれともなるべき人になるのか？）	4-3- 20
電離放射線は PKC を活性化するー線質によって異なるー	4-3- 24
ヒスチジン摂取は皮膚のウロカニン酸を増加させ UVB による接触過敏抑制を増強させる	4-4- 35
民族と体質	4-4- 42
アポトーシスープログラム死の分子機構	4-6- 16

【REPORT】

栄養補助食品としてのクロレラブルガリス E-25 の臨床的評価（予報）	4-2- 11
中国医用放射線従事者にみられるがんについて	4-4- 24
日中放射線増感研究交流団の訪中レポート	4-5- 29

【サロン談義】

ヒトは何才まで生きられるか	4-1- 40
招かざるエイリアン	4-2- 25
うおんてっど：えれきてるもんすたあ	4-3- 31
明日のライフはきのうが決め手？	4-4- 49
森を出て森に帰る	4-5- 35
ボウイズ メイ ビ アンビギュアス	4-6- 25

【BOOKS】

加地伸行著「儒教とは何か」	4-5- 33
50 周年記念出版：「長寿を科学する」「健康増進とリスク研究」	4-6- 23

Vol. 5 1992 年

巻・号・頁

【論説】

がんなんてもう恐くない	菅原 努	5-1- 01
トキシコピー・ワークショップに出席して	菅原 努	5-2- 01
食品の健康影響評価のためのモデルシステム	家森幸男	5-3- 01
循環器疾患予防効果のヒト疾患モデルによる評価とヒトへの外挿		
インドの人口問題	菅原 努	5-6- 01

【がん】

これからの化学治療	鍵谷 勤	5-4- 32
-----------	------	---------

【研究】

定年退職者の健康状態と関連因子	鈴木良一ほか 6 名	5-3- 22
日本の寿命の研究（1）	菅原 努ほか 2 名	5-6- 08
青年期の交通事故死の解析	東 庸太郎、菅原 努	5-6- 14

【Science Stroll】

くわえ込み反応ー京の新名所・キッスロードー	万井正人、飯田清二	5-6- 25
-----------------------	-----------	---------

【COMMENTARY】

「2+2=？」	野津敬一	5-3- 17
「なぜ今紫外線の計測か」	野津敬一	5-3- 20

【座談会】

分かりやすい放射線リスク論 (その1)	青山 喬ほか 14 名	5-4- 01
(その2)	青山 喬ほか 14 名	5-5- 01

【BIO-UPDATE】

体質と発がんー主要適合抗原との関連	5-1- 21
地球上生物への成層圏オゾン減少の効果	5-2- 10
癌細胞における DNA 損傷と形質の不安定性	5-2- 24
癌の進展過程における腫瘍間質の重要性	5-3- 42
サンスクリーン剤、安息香酸 (PABA) は DNA を傷つける	5-3- 45
再び UVA の生理作用について	5-4- 50
三重鎖 DNA	5-5- 28
UVA-1 とは?	5-5- 31
ホメオパシーと低線量放射線の効果	5-6- 22

【REPORT】

科学進歩日本委員会の結成と科学進歩会議	菅原 努、竹下 賢	5-2- 07
旧ソ連原子力発電所の現況	武田篤彦	5-3- 49

【Techno-Info】

超音波体内温度分布表示装置	5-4- 56
---------------	---------

【随想】

ハラショウ・ロシアー初訪問印象記ー	徐 志堅	5-5- 36
-------------------	------	---------

【サロン談義】

心のやまいと般若の湯	5-1- 34
痛みと QOL	5-2- 32
オゾン壊れてハットする	5-4- 57
あなたの・・・は太くて長い?	5-5- 41
発見 VS. 遭遇	5-6- 32

【BOOKS】

星野一正 著「医療の倫理」	5-1- 24
中村雄次郎 著「臨床の知とは何か」	5-1- 26
加藤尚武 著「環境倫理学のすすめ」	5-2- 27
恒古僚子 著「人間形成の日米比較」	5-4- 52
菅原 努 著「がんと闘うハイパーサーミア」	5-4- 54
菅原 努 監修、青山 喬 編著、木村 博、池淵 誠、米原英典 著「放射線基礎医学」	5-4- 55
リチャード・F・モールド 著、小林定喜 訳「目で見るチェルノブイリの真実」	5-6- 29
鈴木継美、安藤 満 編「地球の気候変化と健康のリスク」	5-6- 30
内海博司 著「細胞培養から生命を探る」	5-6- 31

【RANDOM SCOPE】

エキスプロラビジョン & Japanese Inc.	5-5- 35
がん研究費 日米比較	5-6- 24
〈世界史を見る新しい目〉 1. インド木綿と産業革命	5-6- 13
2. 香辛料は医薬であった	5-6- 21
3. 文明観 西・東	5-6- 31
4. 著者の重要なコメント	5-6- 38

【論説】

対がん戦略と新聞論調	菅原 努	6-2-47
放射線発癌の分子機構の問題点	丹羽太貫	6-3-85
コーヒーと健康	菅原 努	6-5-187
風邪とインタフェロン	菅原 努	6-6-229

【特集】

パラダイム・シフトの時代	菅原 努	6-1-01
放射線パラダイム・シフト	菅原 努	6-2-52
胸腺腫瘍の発現における場の重要性	佐渡敏彦	6-2-57
低線量放射線の beneficial effect あるいは adaptive response はヒトに存在するのだろうか？	伴 貞幸	6-2-65
肺癌・P450 遺伝子の多型と発癌感受性	川尻 要	6-2-67

【展望】

太陽紫外線の生体及び生態系への影響	野津敬一、菅原 努	6-6-233
-------------------	-----------	---------

【がん】

これからの化学治療 (2) がん細胞の生理操作による 化学治療効果の増強法	鍵谷 勤	6-1-06
極東ロシアの癌事情	鍵谷 勤	6-4-161

【COMMENTARY】

子孫の健康を約束する地球環境をー京都ライオンズ結成 39 周年記念講演からー		6-6-24
--	--	--------

【研究】

「ボンナリネ」の健康管理集団への応用	橋本哲明ほか 2 名	6-3-109
ノートルダム女子大学における情報処理教育の環境と現況	石川千鶴	6-5-203

【Science Stroll】

続・くわえ込み反応ーボーダーレス動植物ー	万井正人、飯田清二	6-1-35
----------------------	-----------	--------

【シンポジウム】

放射線発がんは突然変異で説明できるか 開催にあたって	二階堂 修	6-4-126
A) 発がんにおける遺伝的背景と場の役割	野村大成ほか 5 名	6-4-127
B) 突然変異と発がん	渡邊正己・佐々木正夫	6-4-135
C) ストレス応答と発がん	葛西 宏ほか 6 名	6-4-139
D) 発がんのメカニズム	田矢洋一・安田秀世	6-4-146
E) がんい見られる遺伝子変化	大津山 彰ほか 5 名	6-4-150
F) 遺伝的不安定性とがん化に伴う遺伝子変化	木南 凌・堀 雅明	6-4-155
まとめ		6-4-159

【REPORT】

アルプスの天然サウナー鉱山跡の温熱治療施設ー	武田篤彦	6-2-69
旧ソ連・東欧での隠された 3 つの物語	武田篤彦・菅原 努	6-3-91
がん転移研究会	菅原 努	6-3-102

【サロン談義】

おとことオンナと X と		6-3-118
--------------	--	---------

ピカドンとポケどんと	6-4-177
ファットハンチング	6-5-220
ペットとあなたと健康と	6-6-250

【BOOKS】

「低線量放射線被曝と生体防御機構国際会議 学術報告書」	6-1- 44
白井隆一郎 著「コーヒーが廻り世界史が廻る」	6-3-115
ポール・フィールドハウス 著 和仁皓明 訳「食と栄養の文化人類学」	6-4-174
マーヴィン・ハリス 著 板橋作美 訳「食と文化の謎」	6-4-174
小林 博 著「がん治療」・今堀和友著「老化とは何か」	6-5-218
満田久輝 著「米、再考」一米は世界の主食ですー	6-6-258

【RANDOM SCOPE】

R&D 費用の対 GDP 比率の変化	6-1- 41
研究成果、自賛の勇み足	6-2- 51
家族計画と出産低下	6-2- 68
脂肪からホルモンへ	6-2- 79
潰瘍は感染症	6-2- 83
胎児の性別と未来社会	6-3-108
コーヒーに反対する女性の請願	6-3-114
エイズと性交渉	6-4-171
アルミのお鍋は大丈夫？	6-6-232

Vol. 7 1994 年

巻・号・頁

【論説】

放射線パラダイム再訪	菅原 努	7-1- 01
真実を見極めることの難しさ	菅原 努	7-2- 33
予測の科学：健康の問題ーサイエンスかトランスサイエンスかー	菅原 努	7-4-133
放射線業務従事者の健康調査の現状と問題点	菅原 努	7-5/6-173

【総説】

UVA は細胞骨格蛋白構造を脂質過酸化なしでも壊す	野津敬一	7-2- 36
---------------------------	------	---------

【特集】

〈やさしい講座〉ラドンと健康	青山 喬ほか 9 名	7-2- 52
〈やさしい講座〉ラドンと健康 その 2	青山 喬ほか 9 名	7-3-106

【がん】

これからの化学治療 (3) その 1	鍵谷 勤	7-3- 77
その 2	鍵谷 勤	7-4-142

【資料】

食品照射：人々の反応とそれを左右する因子	小林定喜ほか 2 名	7-1-07
Love Canal 物語	菅原 努	7-2- 42
感染汚染と発がん：いくつかの誤解	横路謙次郎	7-5/6-179
ロシア北極圏住民への原爆実験降下物の健康影響	菅原 努	7-5/6-184

【SOPE News】

SCOPE、環境問題科学委員会	7-5/6-193
SCOPE-RADTEST とは何か、その生い立ちと計画	7-5/6-198

【BIO-UPDATE】

胚操作技術と発生工学の近況	7-1-12
オリゴペプチドは新しい薬剤開発の手段になりうるか？	7-2-49
身内の認識と高次行動の性差	7-3-128
白内障はUVBの後に来るUVAで起こる	7-5/6-188

【Report】

高バックグラウンド放射線地域に関する一日中印合同ワークショップ印象記	7-4-164
------------------------------------	---------

【サロン談義】

あんた『怖いもん』なし？	7-1-24
回春延寿是桃源？	7-2-69

【BOOKS】

近藤宗平 著「低レベル放射線の健康影響」	7-1-15
N. G. Huigol, D. V. Gopinath and B. B. Singh 編集「低レベル放射線と生体系」	7-1-21
湯浅赳男 著「環境と文明」	7-1-23
野口悠紀雄 著「超」整理法	7-2-65
中西準子 著「水の環境戦略」	7-2-66
今井隆吉 著「科学と外交 軍縮、エネルギー、環境」	7-2-67
米本昌平 著「地球環境問題とは何か」	7-3-131
若林敬子 著「中国人口超大国のゆくえ」	7-4-167
浜田和幸 著「知的未来学入門」	7-5/6-214
色摩力夫 著「アメリカ・ヴェスプッチ謎の航海者の軌跡」	7-5/6-216
近畿水問題合同研究会 編「一問一答」高度浄水処理と安全な水	7-5/6-217

【特別号紹介】

科学文明よ驕るなかれ（鈴木吉彦）	菅原 努	7-4-157
------------------	------	---------

【RANDOM SCOPE】

乗り物酔いは遺伝するか	7-1-06
簡単な不妊テスト	7-1-20
ピルと喫煙と女性	7-1-31
潰瘍は感染症（2）	7-2-68
アスベストとウィルスの協同作用？	7-3-105
T細胞の再教育	7-3-130
ヒトの遺伝子を持つ超能力マウス	7-3-132
ワインと鉛汚染	7-4-141
インドで胎児の性別スクリーニングを禁止	7-4-168
日本ではとても考えられない話	7-5/6-187
本当の風邪薬出現？	7-5/6-192
腰痛がこわいか、放射線がこわいか	7-5/6-207

Vol. 8 1995 年

巻・号・頁

【論説】

放射線パラダイム諸問題	菅原 努ほか3名	8-1-01
放射線発がんにおける分子機構の問題点	丹羽太貫	8-2-43
疫学の難しさ	菅原 努	8-4-163
疫学調査の問題点ー特に調査結果の不一致性について	加藤寛夫	8-5-201

【展望】

X線発見のわれわれにもたらしたもの	菅原 努	8-6-233
-------------------	------	---------

【TOPICS】

プルトニウムは何故世の中で一番危険なものと騒がれるのか？	菅原 努ほか 11 名	8-3-95
------------------------------	-------------	--------

【シンポジウム】

自然環境の健康影響因子と生物の対応ーリスク検討会報告から	菅原 努	8-6-247
------------------------------	------	---------

【がん】

漢方剤 912 の日中共同研究	鍵谷 勤	8-4-182
-----------------	------	---------

【学会紀行】

写真と文で綴る インド・ケララ探訪記	菅原 努	8-1-09
--------------------	------	--------

【資料】

ケララ州出張記	服部禎男	8-1-22
A. N. Prasad の挨拶	A. N. Prasad (菅原 努訳)	8-1-25
テーマ講演：放射線パラダイムと高自然放射線地域研究	菅原 努	8-1-28

【環境】

水質リスク・マネージメントの科学的背景	その 1	菅原 努	8-3-140
	その 2	岡 敏弘	8-4-168

【健康と生活】

酒は百薬の長か？	菅原 努	8-5-209
私の養生訓	菅原 努	8-6-240

【REPORT】

公開セミナー 子どもでも日焼けは危険ー太陽との正しい付き合い方ー	市橋正光ほか 3 名	8-2-52
----------------------------------	------------	--------

【話題】

インドの照射食品	P. C. ケサバン (菅原 努訳)	8-2-65
----------	--------------------	--------

【BIO-UPDATE】

histamine		
↓		
UVB→tUSA→cUCA→PGE ₂		8-2-76
ヒトには太陽紫外線による非ダイマーDNA 損傷を修復する遺伝子、SUVCC1 がある		8-4-188
UVA 被照射ヒト・レンズタンパク質画分での H ₂ O ₂ 生成		8-5-220

【サロン談義】

人類の歴史と疾病構造の変遷		8-1-35
体内時計あれこれ		8-2-69
山城国分寺七重塔跡	藤竹信英	8-4-192

【COMMENTARY】

新聞記事について		8-5-218
----------	--	---------

【特別寄稿】

アイスマン、Otzi		8-3-158
------------	--	---------

【リスクシリーズ】

目で見る健康リスク (No. 2) 日常生活における死亡率 …… 武田篤彦、菅原 努 …… 8-6-256

【BOOKS】

田島英三 著「放射線防護基準の意味するもの」 …… 8-3-161
草間朋子、甲斐倫明、伴 信彦 著「放射線健康科学」 …… 8-4-194
飯島伸子 著「環境社会学のすすめ」 …… 8-4-198
田島英三 著「ある物理学者の生涯」 …… 8-4-199
河野博臣 著「震災診療日誌」 …… 8-5-223
宇沢弘文 著「地球温暖化を考える」 …… 8-5-224
M. Susan Lindee 著「Suffering Made Real」 …… 8-5-225
松岡 理 著「放射性物質の人体摂取障害の記録」 …… 8-6-260
佐藤文昭 著「科学と幸福」 …… 8-6-262

【SCOPE News】

年次報告—1994 年 1 月 1 日から 12 月 31 日 …… 8-2- 80
資料：Radtest—英国の地上核実験参加者の死亡率とがん罹患率 1952—1990 (抄訳) …… 8-2- 89

【JCSD】

活動報告の予告 …… 8-1- 41

【RANDOM SCOPE】

お茶でうがい …… 8-1- 34
オランウータンの災難 …… 8-2- 51
バナナでがんを撃退 …… 8-2- 68
井戸水で地震が予測できる …… 8-4-167
女性の長寿の秘訣? …… 8-4-197
自分できれいにするガラス …… 8-5-208
インドのミルクの奇跡 …… 8-5-217
食物の欧米化で日本人の健康があやうい …… 8-5-227
月に鉱山を作って新しいエネルギーを …… 8-6-261

Vol. 9 1996 年

巻・号・頁

【論説】

ホメオスターシスについて …… 古河太郎 …… 9-1- 01
原爆による脱毛と晩発障害—感受性差か線量誤差か— …… 鎌石和男 (菅原 努編) 9-2- 49
原子力政策円卓会議 (第 4 回) に出席して …… 菅原 努 …… 9-4-145
おはなし放射線生物学 その一. 謎とき生物学は生物にどこまで迫れるか 菅原 努 …… 9-4-151
その二. がんとはどんなものか …… 菅原 努 …… 9-6-257

【提言】

人口動態と死亡率、疾病率統計等のベースラインに係わる情報整備の推進について
武田篤彦 …… 9-1- 07

【公開セミナーシリーズ】

太陽紫外線との正しいつきあい方
(1) 「太陽光を知る」—紫外線と地球環境— …… 花田勝美 …… 9-1- 24
(2) 「紫外線と皮膚」 …… 宮地良樹 …… 9-2- 68
(3) 「子供と紫外線」—健康な皮膚のための提言— …… 市橋正光 …… 9-3- 91
(4) 「紫外線と生活」—サンスクリーン製品— …… 尾沢達也 …… 9-5-201

【がん】

これからの複合治療 (1)	鍵谷 勤	9-3-110
ー細胞実験における抗腫瘍剤と放射線併用の殺細胞作用ー		

【健康と生活】

スポーツとからだ	菅原 努	9-5-215
長寿と健康	鍵谷 勤	9-6-274

【研究】

青年期の交通事故死の解析ー第2報	東 庸太郎ほか	9-1-32
------------------------	---------------	--------

【BIO-UPDATE】

LC の抗原提示能とシス型 UCA とは直接関係ない ¹⁾	野津敬一	9-2-84
疫学的立場よりの基底細胞癌発症と、DNA 損傷修復能との関連	野津敬一	9-4-188

【SCOPE-News】

持続可能な開発の指標		9-6-279
------------------	--	---------

【サロン談義】

生命をどう理解するか		9-6-288
------------------	--	---------

【特集】

中井祥夫先生を偲んで	菅原 努	9-5-233
------------------	------------	---------

【BOOKS】

田口善弘 著「砂時計の七不思議」		9-1-46
松井孝典 著「地球倫理」		9-1-48
阿部謹也 著「『世間』とは何か」		9-2-87
辻 秀男 著「手術とからだ」		9-2-88
中井久夫 著「昨日のごとく」		9-3-140
菅原 努 著「第二の人生の楽しみ」		9-4-193
ブルース・フォーグル 著「ドッグズ・マインド」		9-4-194
ディド 著「犬のディドより人間の皆様へ」		9-4-194
ピーター・メイル 著 小梨 直 訳「贅沢の探求」		9-4-196
古川俊之 著「寿命の数理」		9-5-250
ブルース・フォーグル 著「キャッツ・マインド」		9-5-252
宮崎市定 著 礪波 譲 編「中国文明論集」		9-5-254
長谷川 如是閑 著「倫敦！ 倫敦！」		9-6-294
林 秀彦 著「ジャパン・ビューティフル」		9-6-297

【Random scope】

β カロチンはがんを減らさない		9-1-23
野生種の保存もお金がかかる		9-1-47
代用脂肪：可か否か		9-2-67
紙を燃料にかえる方法		9-2-89
ドーピングとしてのエリスロポイエチン		9-3-143
心臓発作も細菌のせい？		9-4-187
世界の健康問題：ある未来予測		9-5-214
脳細胞は年をとってもへらないか		9-5-222
ニコチンの効用		9-6-287
日本の大人は科学技術に対する関心も知識も最低		9-6-298

【Editorial】

研究のも NGO, NPO	菅原 努	10-1-01
専門部会の公開	菅原 努	10-2-67
科学者の社会的使命	菅原 努	10-3-107
清潔すぎるリスク	菅原 努	10-4-145
行政改革に一言	菅原 努	10-5-193
法律と自然法則の上に立つ特許	三杉隆彦	10-6-227

【特別企画】

Vol. 10 を始めるに当たって	菅原 努	10-1-03
-------------------	------	---------

【連載講座】

研究を目指す市民の為に・・・研究方法論序説	菅原 努	
(1) 序章		10-1-08
(2) たまされない読み方		10-2-94
(3) 統計の扱い方		10-3-116
(4) ベータカロチン物語		10-4-148
(5) リスク論入門		10-5-205
(6) 結び		10-6-246

【サロン談義】

「フェラン博士講演：創られた恐怖」をめぐって	菅原 努ほか3名	10-4-154
------------------------	----------	----------

【REPORT】

創られた恐怖	菅原 努	10-2-81
--------	------	---------

【SCOPE News】

SCOPE 活動報告：第 37 回執行委員会（ロンドン）		10-4-162
------------------------------	--	----------

【BIO-UPDATE】

UVA 照射で、ヒト皮膚線維芽細胞の RNA に DNA よりも 多くグアニン延期過酸化物置いう拡散損傷が出来る	野津敬一	10-3-121
近紫外線（UVA+UVB）は G→T トランスバージョン（塩基転換） を高頻度にもたらす	野津敬一	10-4-181

【新春放談】

がん温熱療法は何故もっと広がらないのか		10-1-12
---------------------	--	---------

【健康と生活】

日常生活のリスク：日米の比較をまじえ	菅原 努、武田篤彦	10-1-25
老人と体力	万井正人	10-2-69
我が国における糖尿病事情とその対策	葛谷英嗣	10-5-209

【研究】

マウスに異種移植したヒト皮膚汗腺による発汗の新しい研究法	小坂光男、嶋津宗典	10-5-197
青年期の交通事故死の解析－第 3 報	東 庸太郎、菅原 努	10-6-231

【JCSD（科学進歩日本委員会）】

水環境リスクと市民参加	末石富太郎	10-3-126
水道水質基準とリスク管理、その背景について	殿界和夫	10-6-255

【BOOKS】

立花 隆 著「マザーネイチャーズ・ドーク」	10-1-	32
河合隼雄・佐藤文隆 共同編集「日本人の科学」	10-1-	34
ジェフリー・M・マッソン・スーザン・マッカーシー 共著「象がすすり泣くとき」	10-1-	36
松岡 理 著「電磁場の健康影響」	10-2-	99
グループ テクノ・ルネッサンス 著「日本の原子力発電 ここが論点」	10-2-	101
マリア・ライヴァ 著 幾野 宏 訳「ディートリッヒ」	10-2-	104
M.スコット・ペック 著 森 英明 訳「平気でうそをつく人たち」	10-3-	135
高月 紘・仲上健一・佐々木佳代 編「現代環境論」	10-3-	137
阿満利磨 (Ama Toshimaro) 著「日本はなぜ無宗教なのか」	10-3-	138
近藤元治 著「O ₂ ・活性酸素物語」	10-3-	142
岡田慶夫 著「胸の科学」	10-4-	189
西村周三 著「医療と福祉の経済システム」	10-5-	217
池上直己 著「日本の医療、統制とバランス感覚」	10-5-	217
笠谷和比古 著「士(サムライ)の思想 日本型の組織と個人の自立」	10-5-	219
加地伸行 著「現代中国学 〈阿Q〉は死んだか」	10-5-	222
National Research Council 編 林 裕造・関沢 純監訳 「リスクコミュニケーション：前進への提言」	10-6-	271
吉川幸次郎 著「中国文学入門、中国の智慧」	10-6-	273
矢崎市定 著「論語の新しい読み方」	10-6-	273
サントリー不易流行研究所 編「時代の気分・世代の気分」	10-6-	276

【記念出版】

High Levels of Natural Tadiation 96	10-4-	190
-------------------------------------	-------	-----

【Random Scope】

たばこの害は精子を経て?	10-1-	11
80 年代と 90 年代の百寿者の健康	10-1-	31
マラリアワクチンの明るい展望	10-1-	38
アメリカでがん死亡率が低下	10-2-	80
酸素が記憶力を高める	10-2-	103
脳細胞も分裂する	10-3-	115
脳：恵まれた「中産階級」のマウス	10-3-	120
新しい代用甘味料	10-3-	125
自殺地帯 Suicide Belt	10-3-	136
騒音による聴力障害：グルタチオンの効果	10-4-	161
塩は苦しみをやわらげる	10-4-	180
自動車の話題を 3 つ	10-5-	196
高血圧患者はグレープフルーツジュースに注意	10-5-	218
南極の氷が解けている	10-5-	224
焼き畑農業は是か非か	10-6-	254
アメリカの奇形の蛙	10-6-	272
中国人はたばこに強い?	10-6-	277

Vol. 11 1998 年

巻・号・頁

【Editorial】

日本病とイメリタスクラブ	菅原 努	11-1-	01
現実を一貫性をもって見ずえること	菅原 努	11-2-	65
平成 9 年度版厚生白書を斬る	菅原 努	11-3-	107
疫学のパラダイム	前田和甫	11-4-	151
環境適応の本態を知る	小坂光男	11-5-	201

情報公開の盲点	菅原 努	11-6-251
【連載講座】		
がんはどこまで避けられるか	(1)	菅原 努 11-1- 49
	(2)	菅原 努 11-2- 72
	(3)	菅原 努 11-3-133
	(4)	菅原 努 11-4-184
	(5)	菅原 努 11-6-262
【Topics】		
放射線はがんをどのように引き起こすか、 および放射線リスク評価の問題	丹羽太貴	11-1- 14
【論説】		
疫学研究は個人レベルでの因果関係を評価できるか	秋葉澄伯	11-3-120
【サロン談義】		
体温調節の謎を探る	小坂光男ほか 4 名	11-4-171
撮影室 1 番雑誌記帳—徒然草子	加藤幸弘	11-6-256
【Bio-Update】		
UVB による免疫抑制の誘導は、UCA の DNA 付加 (DNA-UCAadduct の生成) が原因で起こるのではない	野津敬一	11-4-195
【生活と健康】		
前立腺と闘う	澤田 恂	11-1- 07
究極の『医の論理』の中で	牧野純夫	11-3-112
医者が患者になったとき	赤澤好温	11-6-275
【座談会】		
知恵のリサイクルを目指して	菅原 努ほか 5 名	11-5-205
【SCOPE】		
SCOPE 第 10 回総会		11-4-179
【JCSD】		
地球環境問題と国家政策	内藺嘉男	11-4-179
おいしい水とリスク	菱田洋祐	11-4-164
【資料】		
地方自治体の廃棄物対策	米原英典、菅原 努	11-2- 82
【Books】		
岡田英弘 著「妻も敵なり・・・中国人の本能と情念」		11-1- 58
池永満生、野村大成、森本兼曩 編集「環境と健康 II」		11-2- 98
中西輝政 著「大英帝国衰亡史」		11-2-101
伊原義徳 著「安全から安全への原子力」		11-2-103
森下伸也、君塚大学、宮本孝二 著「パラドックスの社会学「パワーアップ版」」		11-3-144
菅原 努、野津敬一 共著「太陽紫外線と健康」		11-3-146
山岸秀夫 著「遺伝子を観る」		11-3-148
九谷才一・山崎正和 著「日本史を読む」		11-4-198
都城秋穂 著「科学革命とは何か」		11-4-198
サミュエル・ハンチントン 著 鈴木収主税 訳「文明の衝突」		11-5-245

バーナード・ラウン 著 小泉直子 訳「医師はなぜ治せないか」	11-5-247
山岸俊男 著「信頼の構造」	11-6-282
ジョン・D・グラハム、ジョナサン・B・ウィーナー 編著 菅原 努ほか 訳「リスク対リスク」	11-6-283
菅原 努 編著「がん負けてたまるかこの病院この治療」	11-6-287
進行・転移・末期がんも治る「サーモトロン」温熱療法	

【Random Scope】

フレンチ・パラドックスに新知見	11-1-06
ゴルフが上手になる帽子	11-1-13
新しいがん予防薬	11-2-70
温室効果への航空機の役割	11-2-71
ビタミンCも多すぎるとかえって害になる	11-2-97
歩行者の自動車事故	11-2-100
魚を食べると精子が減る？	11-3-143
たばこの効用	11-3-149
禁煙デーに労働災害がふえる？	11-4-170
チトサンが動脈硬化を防ぐ	11-4-178
レモンティーで鉛中毒に	11-5-249
タモキシフェンによる乳癌予防-FDA がゴーサイン	11-6-281
食餌制限による老化防止-猿でも有効-	11-6-286
摘出した心臓を10日間生かしておく方法	11-6-288

Vol. 12 1999 年

巻・号・頁

【Editorial】

21 世紀を目指して新しいプロジェクトを-還元主義を超えて-	菅原 努	12-1-01
いそがれる糖尿病対策	葛谷英嗣	12-2-47
ニッポンを若返らそう	菅原 努	12-3-111
ものづくりの知に学ぶ	菅原 努	12-4-169
未来学再訪	菅原 努	12-5-243
放射線防護体制の確立	菅原 努	12-6-313

【Topics】

太陽光を浴びて肌が黒くなる機構-ストレス生物学の観点から	松田尚樹	12-3-115
低線量放射線の生物影響-害か、益かホメオスタシスか？	渡邊正己	12-4-172
環境疫学 (environmental epidemiology) への期待	前田和甫、佐々木みどり	12-6-316
-再び疫学のパラダイムについて-		

【News & Views】

動物実験をめぐる世界は揺れる	早川純一郎	12-4-184
メラノサイトはUVAの標的である	野津敬一	12-4-189
海水浴は日焼けを促す？	野津敬一	12-4-194
鼓膜音は脳温の指標	小坂光男ほか4名	12-6-323

【連載講座】

人間生理学余録 (I)	万井正人	12-1-01
(II)	万井正人	12-2-54
(III)	万井正人	12-3-128
(IV)	万井正人	12-4-198
(V)	万井正人	12-5-247

【サロン談義】

外科における軌道修正法	一色信彦	12-1-19
-------------	------	---------

【連載解説】

がんはどこまで避けられるか	(6)	菅原 努	12-1-23
	(7)	菅原 努	12-2-65
	(8)	菅原 努	12-4-210

【生活と健康】

たかが野菜作り、されど野菜作り	田中宣征	12-1-36
続 前立腺癌と闘う	澤田 恂	12-3-123

【健康指標プロジェクトシリーズ】

1 温熱と生体のダイナミズム	上田公介	12-2-81
2 複雑系医学（と心身医学）からみた生体のダイナミズム	福永幹彦	12-2-93
3 ウイルス感染防御免疫と乳酸菌末投与効果	宮澤正顕	12-3-138
4 発がんと生体のダイナミズム	丹羽太貫	12-3-155
5 免疫機能の増進と生薬効果	野本亀久雄	12-4-225
6 健康指標としてのインターフェロン系	宗川吉汪	12-5-265
7 リウマチのモデルシステム	岩倉洋一郎	12-5-275
8 免疫系の環境への適応機構と水俣に見る疫学の課題	浴野成生	12-5-289
9 癌免疫を調節する因子	栗林景容	12-6-327
10 骨髄細胞の底力	中内啓光	12-6-339
11 意外な期限の生理活性ペプチド	吉川正明	12-6-353

【環境・生活シリーズ】

家の中は危ないか	12-1-33
医学的介入による平均余命の増加	12-2-103
救命手段の費用効果分析	12-3-163
アルツハイマー病の新しい治療薬の費用効果	12-4-235
大気汚染の健康への影響の評価について	12-5-306
予防原則の意味について	12-6-371

【Books】

村上陽一郎 著「安全学」	12-1-38
小林 博 著「がんの予防」	12-2-105
岡崎久彦 著「繁栄と衰退と」	12-2-107
田上八朗 著「皮膚の医学」	12-3-166
山岸俊男 著「安全社会から信頼社会へ」ー日本型システムの行方ー	12-4-238
マルコム・カウリー 著 小笠原豊樹 訳「八十路から眺めれば」	12-5-308
エドウィン・0・ライシャワー 著 田村完誓 訳「円仁 唐代中国への旅」	12-5-310
丸山真男・加藤周一 著「翻訳と日本の近代」	12-6-373
黒田行昭・原 征彦 著「お茶はなぜ体によいのかーカテキンパワーの秘密ー」	12-6-375

【Random Scope】

ワインはぼけを防ぐ？	12-1-目次-2
中国のたばこ問題	12-1-18
何故ベータカロチンが却って肺癌をふやすか	12-2-64
チョコレートも味方か？	12-2-106
アフリカの森林から糖尿病の救いが？	12-3-137
無害なたばこは出来るか	12-3-167
ベジタリアンのコンドーム	12-4-188
男性の浮気を見つける科学的方法	12-4-197
新しく覚えた言葉は脳の何処に？	12-5-264

制がん剤、放射線の副作用を防ぐ新しい方法	12-5-288
発電タービンの改良で温室ガスの放出が減らせるか	12-5-305
ゴールデン・ライス（遺伝子改変の方向）	12-6-352
野菜が骨ソシウ症を防ぐ？	12-6-370
神に祈れば病気が治るか？	12-6-379

Vol. 13 2000 年

巻・号・頁

【Editorial】

安心できる安全の構築	西原英晃	13-1- 01
放射線とのつきあい方をみんなで考えよう	菅原 努	13-2- 51
シリーズ「21 世紀の健康と医生物学」編集に当たって	菅原 努	13-3-123
“われわれ日本人は”	菅原 努	13-4-175
低線量放射線の影響を科学的に調べよう	菅原 努	13-5-233
国際協力における文化の理解	菅原 努	13-6-283

【Topics】

がん治療におけるハイパーサーミアの意義	松田忠義、菅原 努 ..	13-4-177
環境ホルモンと飲料水とリスクの問題	中室克彦	13-5-236
高自然放射線地域住民の健康調査	菅原 努	13-6-285

【論説】

放射線防護に発想の転換を	菅原 努	13-2- 53
--------------------	------------	----------

【調査メモ】

一般人に対する線量限度	菅原 努	13-1- 06
長寿は沖縄からハワイへ？	菅原 努	13-3-125

【健康指標プロジェクトシリーズ】

12 酸化ストレス指標としてのバイオマーカー	豊國伸哉	13-1- 09
13 中枢神経系の可逆性維持における補体の役割	岡田秀親	13-1- 27
14 アレルギー制御モデルマウスと免疫療法	熊谷善博	13-1- 35
15 相同組み換えの分子生物学	武田俊一	13-2- 63
16 古典的放射線生物学における回復現象の分子生物学的解析	内海博司	13-2- 79
17 卵成熟の生物学	増井禎夫	13-2- 90
18 クローン牛から学ぶもの	角田幸雄	13-2-104
19 個体維持・種族保存のための中枢多重共調節系と環境因子	栗生修司	13-3-128
20 医療面に活かされるファジィ理論	有田清三郎	13-3-142
21 肝再生因子 HGF による再生医療	中村敏一	13-3-147
22 再生医療とバイオ人工臓器	井上一知	13-3-160
23 サイトカインの多面的生理活性の分子基盤	平野俊夫	13-4-182
24 腸管上皮内リンパ球と腸管免疫	石川博通	13-4-202
25 医療とユーモア	柏木哲夫	13-4-211
26 胸腺外で分化する T 細胞の免疫機能	吉開泰信	13-5-256
27 脳腸相関：脳のみでも腸のみでもない世界	福土 審	13-5-266
28 ストレスに対する神経伝達物質放出の特性	田中正敏	13-6-295
29 生活習慣（食事、運動など）と免疫について	久保千春	13-6-312

【環境・生活シリーズ】

健康に関する情報を正しく利用するために	13-1- 45
ディーゼルか天然ガスか？	13-2-116
子どものリスク	13-3-170

医薬品は費用効果があるか？	13-4-224
救命の値段は？	13-5-274
健康と医学における費用効用比のリストがインターネットで利用可能に	13-6-323

【Books】

佐伯啓思 著「アダム・スミスの誤算：幻想のグローバル資本主義（上）」	13-1- 47
「ケインズの予言：幻想のグローバル資本主義（下）」	
正高信男 著「老いはこうしてつくられる：こころとからだの加齢変化」	13-2-118
蒲原聖可 著「肥満とダイエットの遺伝学—遺伝子が決める食欲と体重」	13-2-119
村瀬雅俊 著「歴史としての生命—自己・非自己循環理論の構築—」	13-3-172
星野芳郎 著「日米中三国史：技術と政治経済の 55 年史」	13-4-226
早石 修・井上昌次郎 編 吉永良正 構成「快眠の医学：「眠れない」の謎を解く」	13-4-228
上杉正幸 著「健康不安の社会学」	13-5-276
衣笠達也 著「放射線物語 !と?の狭間で」	13-5-278
大野 乾 ^{すすむ} 著 未完「先祖物語 遺伝子と人類誕生の謎」	13-6-325

【Random Scope】

かぶれないゴム手袋・コンドーム	13-1- 08
アルコールの功罪	13-1-44
炭酸ガスを燃料に戻す方法	13-1- 48
ベンゼンと室内空気汚染	13-2- 62
激しい運動をして体内脂肪を燃やすと翌日に脂肪が欲しくなる	13-2-103
背の低い方が有利か？	13-2-115
フラボノイドも摂りすぎにはご用心	13-3-124
たばこは皮膚の老化を促進	13-3-141
悪い臭いと良い卵	13-4-181
植物から薬を作る新しい方法	13-4-227
チョコレートは心臓に良い？	13-5-235
女性のトイレに何故長い列が出来るか	13-5-255
シナモンが糖尿病に効く？	13-6-326

Vol. 14 2001 年

巻・号・頁

【Editorial】

21 世紀の幕開け	菅原 努	14-1- 01
リテラシーについて	菅原 努	14-2- 55
食の効能評価に新しい革袋を	中嶋 茂	14-3-119
生物学者からみた図書館の意義と電子情報の問題点	内海博司	14-4-169
食の効能をどう評価するか	菅原 努	14-5-223
財団法人体質研究会創立 60 周年記念事業を終えて	菅原 努	14-6-275

【Topics】

21 世紀に於ける日本の知の役割	菅原 努	14-1- 03
がんの化学予防の現状—大腸癌予防研究を中心に	伊藤貴美子	14-1- 11
モンゴル伝統医学と現代医学の邂逅—馬乳酒治療と免疫学を中心に	前田壮二郎	14-2- 57
限定的健康強固表示とトランス・サイエンス	吉田脩平	14-3-122
低線量問題再訪：新しいモデル導入の試み	菅原 努	14-3-128
食餌中の脂質の科学：その問題点	吉田脩平、菅原 努	14-4-173
モナリザ研究で全ての人々に健康を	家森幸男	14-5-226
MONALISA study for “Health for All”		
βカロチンとがん予防	伊藤貴美子	14-6-278

【健康指標プロジェクトシリーズ】

30	転写因子 NF- κ B の作用機構と疾患制御	岡本 尚	14-1-23
31	エカーラット (Eker rat) を用いた胃癌発症の初期過程の解析	桶野興夫	14-1-40
32	ノックアウトマウスを用いた腸癌の研究と治療法の開発	武藤 誠	14-2-86
33	キメラマウスを用いた組織レベルでの発がん過程の解析	立松正衛	14-2-103
34	健康な加齢のための社会医学	辻 一郎	14-3-136
35	人間は何歳まで生きる	万井正人	14-3-152
36	生命を知る－臨床心理学から－	山中康裕	14-4-190
37	がん予防と食品成分	大東 肇	14-4-202
38	声明を知る－生物進化学から－	宮田 隆	14-5-239
テーマ：癌ワクチンの作用機作と免疫療法			
① 39	先天性基本免疫システム（リンパ球以前の免疫システム）	瀬谷 司	14-5-249
② 40	BCG-CWS を用いる癌単独免疫療法；30 年記録	林 昭	14-5-259
41	医療評価のパラダイムシフト健康関連 QOL	福原俊一	14-6-283
テーマ：骨粗鬆症を如何に防ぐか			
① 42	ヒト骨形成促進のメカニズム	穂積信道	14-6-296
② 43	骨粗鬆症の現状：診断から治療まで	福永仁夫	14-6-306

【環境・生活リスクシリーズ】

HIV に感染した女性および男性における子宮頸がんと肛門がんの予防	14-2-112
メキシコシティの大気汚染の分析研究	14-3-161
旧式発電所から排気削減によってもたらされる健康上の利益	14-4-212
発展途上国における子宮頸がんの予防	14-5-271

【Books】

「アフォーダンスとは何か」・・・これを学ぶための 3 冊の本	14-1-49
・正高信男 著「老いはこうしてつくられる」	
・佐々木正夫 著「アフォーダンスー新しい認知の理論」	
・エドワード・S・リード著「アフォーダンスの心理学：生態心理学」	
ジョン・F・ロス 著 佐光紀子 訳「リスクセンス「身の回りの危険にどう対処するか」	14-2-115
斎藤了文、坂下浩司 編「工学倫理「はじめての工学倫理」	14-2-116
ロバート・L・パーク 著 栗木さつき 訳	14-3-164
「わたしたちはなぜ科学にだまされるのかインチキ！ブードー・サイエンス」	
ちょっと辛口の本二冊	14-4-214
・鳥飼玖美子 著「歴史をかえた誤訳」	
・谷岡一郎 著「「社会調査」のウソ リサーチリテラシーのすすめ」	
山岸秀夫 著「免疫系の遺伝子戦略ー免疫防御システムの分子遺伝学ー」	14-4-217
佐藤満彦 著「「放射能」は怖いのか放射線生物学の基礎」	14-6-318
館野之男 著「放射線と健康」	14-6-318

【Random Scope】

いくら食べてもふとらない！	14-1-10
英国では電波への怖れで携帯電話のタワーが建てられない	14-1-39
イタリアの男性の長寿村	14-2-114
脳の細胞も分裂する	14-2-117
白ワインにも効能あり？	14-3-121
白眼は人にとって他の霊長類にはない	14-3-127
捕鯨禁止への言いがかり	14-4-189
催涙ガスに代わる悪臭ガスの可能性	14-4-211
ダイエットの効果は高齢者でも	14-5-238
アスベストの恐怖	14-5-248
宇宙旅行では腎結石が心配	14-6-282
アルツハイマー病の予防・治療が可能になる日が近い？	14-6-319

【Editorial】

第 15 巻を迎えて	菅原 努	15-1-01
食品成分の予想外の効能・効果の発見に至る道筋	五十嵐 脩	15-2-41
若者と夢	菅原 努	15-3-87
科学と社会	菅原 努	15-4-127
新しい食の効能評価を求めて	菅原 努	15-5-187
同意と提言を目指す国際会議の提案	菅原 努	15-6-229

【Topics】

21 世紀の健康科学序論	菅原 努	15-1-03
分かり易い放射線防護体系を考える	菅原 努	15-2-44
紫外線誘発 DNA 損傷に対するモノクローナル抗体の 樹立とその応用研究	二階堂 修	15-3-89
住民の安心する放射線防護のあり方	中村清一、菅原 努	15-4-129
食の効能評価研究の進め方と課題	五十嵐 脩	15-5-191
不老長寿のおはなし	菅原 努	15-6-231

【健康指標プロジェクトシリーズ】

テーマ：ES 細胞と医療倫理

① 44 ES 細胞の生物学と医学	仲野 徹	15-1-12
② 45 先端医療と生命倫理	西川伸一	15-1-24

テーマ：熱ショック蛋白質の医生物学

① 46 分子シャペロンによる蛋白質の品質管理と病態	永田和宏	15-2-51
----------------------------	------	---------

テーマ：脳の機能はどこまで見られるか—脳機能と画像診断の進歩—

① 47 脳機能イメージングの進歩	米倉義晴	15-2-64
② 48 非侵襲的機能画像法を用いた脳可塑性へのアプローチ	定藤規弘	15-2-72

テーマ：遺伝子改変作物の将来

① 49 遺伝子組換え作物はなぜ必要か	佐野 浩	15-3-101
② 51 疾病を予防する遺伝子組換え食品	村田幸作	15-4-139

テーマ：形成医療

① 50 ヒト細胞培養の臨床への応用の問題点	難波正義	15-3-116
② 52 ヒト組織工学の臨床応用をめざして	磯貝典孝	15-4-150

テーマ：食による糖尿病合併症の予防—糖尿病とフードファクター—

① 55 食品科学の立場から	大澤俊彦	15-5-197
② 53 臨床医学の立場から	吉川敏一	15-4-156

テーマ：21 世紀の健康と脳医学

① 58 脳の機能とメカニズム	中西重忠	15-6-252
② 54 脳卒中治療の最前線	菊池晴彦	15-4-165

テーマ：形態形成の医生物学

① 57 細胞生物学からみた神経ネットワーク	竹市雅俊	15-6-240
② 56 上皮・内皮細胞シートのバリアー機能： その分子機能と疾病との関連について	月田承一郎	15-5-211

【Books】

中山 治 著『戦略思考ができない日本人』	15-1-36
ジョン・ダワー 著 三浦陽一・高杉忠明・田代泰子 訳『敗北を抱きしめて 下』	15-1-36
阿部謹也 編著『世間学への招待』	15-2-82
佐藤直樹 著『世間の現象学』	15-2-82
阿部謹也 著『学問と「世間」』	15-2-82
加藤 隆 著『神教の誕生』	15-3-123
金森 修・中島秀人 編著『科学論の現在』	15-4-184

松本三和夫 著『知の失敗と社会 科学技術はなぜ社会にとって問題か』	15-4-184
北 徹 編『もの忘れ外来』	15-5-225
池田正行 著『食のリスクを問いなおす—BSE パニックの真実』	15-5-226
長谷川真理子 編著『ヒト、この不思議な生き物はどこから来たのか』	15-6-260

【Random Scope】

狂牛病犠牲者の予測	15-1- 02
バイオテロへの新しい対策	15-1- 37
汗で除菌できる？	15-2- 43
ボツリヌス毒素で若返り！？	15-2- 51
「実験動物によりよい飼育条件を」が新しい問題を生む	15-2- 63
チンパンジーとヒトとの違いは精子にある？	15-2- 81
筋肉を鍛えるくすり	15-4-164
ミネラルウォーターの安全性	15-4-181
熱帯病が航空機と共に北へ	15-5-190
お骨からダイヤモンド	15-5-210
航空機事故に劣らず怖い飛行中の病気	15-5-227
飼い猫も喫煙の影響を受ける	15-6-229
性を決めるものは何か	15-6-261

Vol. 16 2003 年

巻・号・頁

【Editorial】

16 巻から装いを新たに	菅原 努	16-1-001
ハイパーサーミアの市民講座雑感	菅原 努	16-2-045
何かおかしい：メディアに注意！	菅原 努	16-3-081
患者指向の医療とは？	菅原 努	16-4-131
評価法を評価する	菅原 努、竹下 賢	16-5-167
温泉学会の設立	菅原 努	16-6-225

【Topics】

「イレッサ」は夢の新薬？	伊藤貴美子	16-1- 03
がん治療最前線～ハイパーサーミア（がんの温熱療法）とは		16-2- 47
化学物質と放射線のリスクについての考え方の対比	栗原紀夫	16-3- 84
おいしい水をめぐる課題	今井嘉彦	16-5-171
健康リスク論（研究）の夢と現実・試論		
—リスク論は本当に人々に安心を与えたか—	菅原 努	16-6-228

【消夏茶話】

自然科学者が聞く文系の話	16-4-156
--------------	----------

【健康指標プロジェクトシリーズ】

テーマ：ストレス蛋白の臨床応用		
59 ストレス耐性誘導による治療限界拡大の可能性	野口 孝	16-1- 10
テーマ：肥満の医学		
60 生活習慣病学の提唱	奥田拓道	16-1- 20
テーマ：代替補完医療から総合医療へ		
61 代替療法の実践と問題点	今西二郎	16-1- 30
テーマ：ストレスの脳科学		
① 62 ストレス、そのとき遺伝子と脳は	仙波恵美子	16-2- 53
② 63 PTSD（外傷後ストレス障害）の脳科学	加藤進昌	16-2- 67
テーマ：老化の生物学		

① 64	ミトコンドリアを原因とする酸化ストレスと老化	石井直明	16-3-99
② 65	モーターリンと細胞寿命延長の新展開	三井洋司	16-3-115
テーマ：汗の効用			
① 66	人間の体温は何度まで上がる—ヒト最高体温の再検索—	小坂光男	16-4-133
② 67	発汗のしくみ	菅屋潤壺	16-4-145
テーマ：生物進化からみた発生と再生			
① 68	プラナリアと再生医療	阿形清和	16-5-192
② 69	分子発生学的機構から見た進化的新形態の起源：顎と甲羅	倉谷 滋	16-5-210
テーマ：免疫系の成立とその展開			
① 70	免疫系細胞の誕生	桂 義元	16-6-238
② 71	ケモカインによる血球形成、器官形成の制御	長澤丘司	16-6-247

【Books】

なだいなだ 著『神、この人間的なもの』—宗教をめぐる精神科医の対話—	16-1-41
中野 雄 著『ウィーン・フィル：音と響きの秘密』	16-2-78
高島俊男 著『漢字と日本人』	16-3-126
堺屋太一 著『高齢化大好評』	16-4-162
小室直樹 著『論理の方法〈社会科学のためのモデル〉』	16-4-164
監修：NTT コミュニケーション科学基礎研究所	16-5-222
『コミュニケーションを科学する—チューリングテストを超えて』	
佐伯啓思 著『人間は進歩してきたか「西欧近代」再考』	16-6-258

【Random Scope】

インドの貧困層の為の遺伝子操作食品	16-1-09
人口増より小家族の増加が環境にとって問題	16-1-19
環境汚染とカフェイン	16-1-40
大腸菌もがんを予防する？	16-2-52
大豆は胎児に危険か	16-2-66
神経質な人読むべからず	16-3-125
環境グループがナノテクも	16-4-163
最近の世界の GM (1)	16-5-170
最近の世界の GM (2)	16-6-237

Vol. 17 2004 年

巻・号・頁

【Editorial】

第 17 巻を迎えて	菅原 努	17-1-01
40 年近く続く教科書「放射線基礎医学」	菅原 努	17-2-53
門田基金国際フォーラム 2004 年		17-3-101
温熱ストレスの健康への応用—コンセンサスと提言—		
高自然放射線地域研究は何のためにするのか	菅原 努	17-4-159
文理融合科学のすすめ	菅原 努	17-5-203
何故今さきがけ技術の振興が必要か	菅原 努	17-6-245

【Topics】

特集 近江舞子放談会 テーマ：21 世紀の生命科学と社会		17-1-03
① 科学とことば	小南一郎	17-1-08
② 科学のなうち	折田泰弘	17-2-55
③ 科学とあそび	和泉 豊	17-3-104
京都らしさの都市景観や景色	川崎雅史	17-4-163

【健康指標プロジェクトシリーズ】

テーマ：医学生物学におけるコンピューターシミュレーション

- ① 72 心臓細胞機能のシミュレーション 野間昭典 17-1-38
② 73 E-Cell プロジェクトの挑戦： 内藤泰宏 17-2-78
細胞シミュレーションによる病態解析の試み
③ 74 複雑系としての生命の倫理： 金子邦彦 17-2-97
構成的生物学実験と共存的ダイナミクスの理論

テーマ：ポストゲノム時代の生命科学

- 75 植物の体作りにおける厳密さと曖昧さ 岡田清孝 17-3-142

テーマ：再生医療の周辺

- 76 胚性幹細胞（ES細胞）を巡る研究 中辻憲夫 17-4-187

テーマ：ポストゲノム時代の生命科学

- ① 77 生命継承の原理を理解する 柳田充弘 17-5-206
② 78 ドラマのシナリオをアドリブ 本庶 佑 17-5-218

テーマ：再生医療の周辺

- ① 79 脊椎動物の体造り 相澤慎一 17-5-229

テーマ：視覚からみた生物進化

- ① 80 闇夜でも昼間でもものが見える仕組み 河村 悟 17-6-275
② 81 光受容体の多様性と分子進化 七田芳則 17-6-286

テーマ：分子構造から脳神経機能を考える

- ① 82 グルタミン酸受容体の構造と機能 陣上久人 17-6-247
② 83 チャネルの構造と機能 藤吉好則 17-6-259

【Books】

- 広井良典 著『生命の政治学—福祉国家・エコロジー・生命倫理』 17-1-49
小島寛之 著『確率的発想法—数学を日常に生かす』 17-2-97
日高敏隆 著『動物と人間の世界認識 イリュージョンなしに世界は見えない』 17-3-156
日本科学技術ジャーナリスト会議 編 17-4-198
『科学ジャーナリズムの世界：真実に迫り、明日をひらく』
河合幹雄 著『安全神話崩壊のパラドックス：治安の法社会学』 17-5-240
テッサ・モーリス・スズキ 著 田代泰子 訳 17-6-300
『過去は死なない メディア・記憶・歴史』
栗山茂久・北沢一利 編著『近代日本の身体感覚』 17-6-302

【Random Scope】

- アルコールは数ヶ月経っても証拠が残る 17-1-37
水素エネルギーは本当にクリーンか？ 17-1-50
たった一つの突然変異が総ての違いのもと？ 17-2-86
がん治療が肥満に役立つ？ 17-3-103
フセインに No と言った科学者（前編） 17-4-162
フセインに No と言った科学者（後編） 17-4-200
狩猟採取から農耕へ 17-5-205
湯冷めで風邪をひくか 17-5-240
胃がんの元は骨髄細胞か？ 17-6-299
クリスマス・ツリーの伝統 17-6-302

Vol. 18 2005 年

巻・号・頁

【Editorial】

- 第 18 巻のはじめに 菅原 努 18-1-001
公共政策と科学の役割 菅原 努 18-2-073
文理融合をどうして進めるか 菅原 努 18-3-167

もう一つのがん難民	菅原 努、近藤元治 ..	18-4-257
偽薬効果と医療	菅原 努	18-5-345
スローライフ、スローフード、スローサイエンスの勧め	小川 侃	18-6-397

【Topics】

特集 健康効果指標プロジェクト第 50 会例会記念講演会

テーマ：知のフロンティア—健康といのちの科学をめざして

健康・いのちを考える—文理融合型サイエンスの勧め	菅原 努	18-1- 03
見えざるものの現象学—身と雰囲気	小川 侃	18-1- 10
地震活動期の西日本	尾池和夫	18-2- 75
知識社会と科学技術政策—果てしないフロンティアを拓くために ..	井村裕夫	18-2- 93
医学・医療を考える	鳥塚莞爾	18-2-106
免疫力とは何だろう？ 第 1 部	宮沢正顯	18-3-169
第 2 部	宮沢正顯	18-4-263
〈癒し〉のメカニズムと水 第 1 部	中井吉英	18-5-284
第 2 部	中井吉英	18-5-363
第 3 部	中井吉英	18-6-407
米国での統合医療の現状 第 1 部	竹林直紀	18-5-348
第 2 部	竹林直紀	18-6-425
全体論的評価法検討プロジェクト：総括	菅原 努、竹下 賢 ..	18-6-400

【健康指標プロジェクトシリーズ】

テーマ：食品とアレルギー

① 84 食と免疫・アレルギー	上野川修一	18-1- 23
② 85 食と健康、アレルギーをモデルに	白川太郎	18-1- 32
—ゲノムサイエンスから見た食物摂取効果の評価展望と可能性 ..		

テーマ：腫瘍休眠療法とは：新しいがん医療戦略

① 86 オーダーメイドによる抗癌剤治療	高橋 豊	18-1- 45
—“より多くからより長く” へのパラダイムシフト		
② 87 彷徨える癌患者たち	近藤元治	18-1- 55
—ハイパーサーミアにたどり着けた患者 VS ハイパーサーミアを知らない医者		

テーマ：医と食の新しい効能評価

① 88 臨床研究の新しい見方	竹林直紀	18-2-112
—要素還元主義からシステム論的健康観へ		
② 89 食の効能評価の手法とその問題点	五十嵐 脩	18-2-134

テーマ：人類の起源

① 90 新世界ザル—人類を生み出さなかった霊長類	西邨顕達	18-3-189
② 91 人間性はどこから来たか	西田利貞	18-3-202

テーマ：バイオセンサーとしての味覚

① 92 美食する脳	伏木 亨	18-3-216
② 93 味覚の科学	都甲 潔	18-3-225

テーマ：漢方に学ぶ

① 94 漢方薬（補剤）を用いたがん転移の抑制とその機序	済木育夫	18-4-298
② 95 不定愁訴に対する漢方医学の考え方	新谷卓弘	18-4-313

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：文理融合の科学をめざして

1 〈身〉の精神性	小川 侃	18-3-242
2 神経回路網による情報の表現	櫻井芳雄	18-4-328
—心理学と神経科学をつなぐために		
3 食と健康：食の新たな機能を探る	大東 肇	18-5-372
4 チンパンジーの食生活	西田利貞	18-6-443
5 なぜいま全人的医療が必要か	中井吉英	18-6-461

【Books】

岸 宣仁 著『ゲノム敗北 知財立国日本が危ない!』	18-1-067
大石道夫 著『DNA の時代 期待と不安』	18-2-147
マーク・ブキャナン 著 阪本芳久 訳 『複雑な世界、単純な法則 ネットワーク科学の最前線』	18-3-246
都甲 潔 著『感性の起源』	18-3-248
吉良枝郎 著『幕末から廃藩置県までの西洋医学』	18-4-336
山折哲雄 編著『環境と文明 新しい世紀のための知的創造』	18-4-337
菅原 努 著『「安全」のためのリスク学入門』	18-5-347
ブライアン・フェイガン 著 東郷えりか 訳 『古代文明と気候大変動—人類の運命を変えた二万年史』	18-5-390
井村裕夫 著『21 世紀を支える科学と教育』	18-6-398
大串隆之 著『生物多様性科学のすすめ—生態学からのアプローチ』	18-6-460

【Random Scope】

抗痙攣剤が線虫の寿命を伸ばす	18-1- 22
ベッドに早く入るようになると大人になる	18-1- 54
アメリカの幹細胞研究の問題点	18-2-133
白血病の標的治療薬が糖尿病に効く?	18-2-146
細菌も不死ではないのではないか	18-2-148
皮膚の色を決めるものは何か?	18-3-188
風力発電の新たな問題	18-3-215
肥満は喫煙より寿命を縮める	18-4-293
米国で Intelligent-design 運動が大学校内で広がりつつある	18-4-312, 327
高齢出産者は抗老化遺伝子を活用している	18-4-341
アメリカ大陸に 4 万年前からヒトがいた?	18-5-362
歩行者を護る自動車	18-5-389
日本における若者の殺人率は?	18-6-424
fMRI でテロリストを見つけられる?	18-6-475

【NPO のページ】

NPO 法人って何?	18-1- 69
特定非営利活動法人さきがけ技術振興会の定款及び設立総会の議事録等の資料	18-2-149
過熱水蒸気とはどんなものか	18-3-249
「さきがけ技術」のプロトコール	18-4-338
がん温熱療法はさきがけ技術である	18-5-386
初年度の活動と次年度への期待	18-6-476

Vol. 19 2006 年

巻・号・頁

【Editorial】

新しい装いのもとに	菅原 努	19-1- 02
「天」は先に考え「人」は後から考える	山岸秀夫	19-2-114
がん対策法が本当に患者のためになるには	菅原 努	19-3-236
本誌と「いのちの科学プロジェクト」	山岸秀夫	19-4-356

【特集】

〈老いと闘い〉

特集「老いと闘い」にあたって	菅原 努	19-1- 07
老化研究と私の養生訓	菅原 努	19-1- 09
寝たきりにならないために	山室隆夫	19-1- 25
老化促進モデルマウス (SAM) の 30 年	竹田俊男	19-1- 34

酸化ストレスは寿命を決定するか？	H.V. レンメン	19-1-60
交通事故から老化を覗く	東庸太郎、菅原 努	19-1-66
〈疲労の科学〉		
特集「疲労の科学」にあたって	渡辺恭良	19-2-121
疲労のメカニズムとその克服	渡辺恭良	19-2-125
みえてきた慢性疲労に陥るメカニズム	倉恒弘彦、渡辺恭良	19-2-137
ウイルスと疲労	近藤一博	19-2-149
DNA チップを用いたストレスの評価法	六反一仁	19-2-160
〈ストレスで健やかに生きる〉		
特集「ストレスで健やかに生きる」に寄せて	渡邊正己	19-3-245
ストレスを感じずには生きている証拠	渡邊正己	19-3-246
発がん抑止としてのエイジングを探る	児玉靖司	19-3-258
ライフスタイルと健康 生活習慣病リスクを科学する	森本兼義	19-4-400
序奏とロンドカプリチオーソ	石井啓一郎	19-4-411
〈医食同源の科学〉		
特集の意義と紹介	小川 侃	19-4-366
形態か、形式か：カントにとって食事とは何であったか	ロドルフ・ガシェー	19-4-368
禅の真の意味 日本の料理道について	ハラルド・レムケ	19-4-377
消化の精神について	アンケ・ハールマン	19-4-388

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：文理融合の科学をめざして

5 ハイパーサーミアによるがん治療 —がん細胞が温熱で死にやすい理由	渡邊正己	19-1-76
6 教育の軽量化と数学	菅原邦雄	19-1-86
7 声の不思議：見えるものと見えないもの	一色信彦	19-2-172
8 チベット医学（薬師如来の医学）をかいま見る	中野勝輝	19-3-270
9 土といのち	久馬一剛	19-3-278
10 新種の発見とはどういうことか	中坊徹次	19-4-417

【JCSD プロジェクトシリーズ】

現代社会のリスクと全体評価 第1部	山口節郎	19-2-186
第2部	山口節郎	19-3-297
トップダウンの発想によるリスクマネジメント 第1部	佐久間秀武	19-4-429

【連載講座】

食の常識・非常識 (Ⅰ) 緑茶カテキンの光と陰	大東 肇	19-1-104
(Ⅱ) “天然”志向にひとこと	大東 肇	19-2-200
(Ⅲ) 農薬の功罪あれこれ	大東 肇	19-3-309
(Ⅳ) 野菜と健康	大東 肇	19-4-434
漢字の散歩道 (Ⅰ) 土という漢字	小南一郎	19-3-295

【トピックス】

異質なものを出会わせる装置—連歌	高城修三	19-4-438
------------------	------	----------

【サロン談義】

薬の副作用と眠剤に関連した闘病記	山岸秀夫	19-2-203
睡眠障害の問題と睡眠薬	中井吉英	19-2-207
サロン談義 1 元気で長生き		
問題提起：整形外科から見た高齢社会と QOL	山室隆夫	19-3-312
コメント：循環器内科から見た医療の理念	篠山重威	19-3-312
サロン談義 2 心筋梗塞とどう付き合うか—その予防と予後		
問題提起：急性心筋梗塞から 8 年	尾池和夫	19-3-324
コメント 1：心筋梗塞における事実と問題 —尾池京大総長の手記を読んで	篠山重威	19-3-328

コメント2：地震学者と基礎医学者	菅原 努	19-3-332
コメント3：救われた有り難いのち—私の経験	山岸秀夫	19-3-333
サロン談義3 いのちの科学としての医学・医療（I）		
私の狙い：連歌形式のサロン談義	菅原 努	19-4-443
問題提起：第一主題、内科と外科	菅原 努	19-4-444
コメント1：見えないものを見る医師	中井吉英	19-4-446
コメント2：患者を理解し、総合的に診療する医療	小川 侃	19-4-448

【NP0 のページ】

NP0 さきがけ技術振興会とそのビジネス・モデル	西原英晃	19-1-108
がん温熱療法の盛衰と新しい流れ	菅原 努	19-2-211
癌難民に救いの手を	近藤元治	19-3-336
臨床ハイパーサーミアの薦め	菅原 努	19-4-450

【Books 談義】

Books 談義欄新設に当たって	編集委員会	19-4-458
Books 談義1 山中康裕 著「子どもの心と自然」をめぐる（I）		
コメント1：自然豊かな大原野の子どもたち	吉野文男	19-4-458
コメント2：子どもたちに本物を体験させたい	栗原紀夫	19-4-461
コメント3：ゲーム感覚とリセットできない「いのち」	藤本真慈	19-4-464
コメント3（回答）：「百聞は一見に如かず」の自然のドラマ	山中康裕	19-4-466

【Books】

渡辺京二 著『逝きし世の面影』	19-1-65, 85
高橋伸彰 著『少子高齢化の死角—本当の危機とは何か』	19-1-102
川崎 謙 著『神と自然の科学史』	19-1-107, 110
三井 誠 著『人類進化の700万年』	19-2-221
青木 茂、滝口直彦 編訳『医学的人間学とは何か？』	19-2-222
方波見康雄 著『生老病死を支える—地域ケアの新しい試み』	19-2-223
山下柚実 著『〈五感〉再生へ—感覚は警告する』	19-2-224
長谷正當 著『欲望の哲学—浄土教世界の思索』	19-2-226
久馬一剛 著『土とは何だろうか？』	19-2-227
アイラ・B・ブラック 著『脳は変化する—ある銀行家の悲劇と脳科学の最前線』	19-3-244
木村凌二 著『多神教と一神教—古代地中海世界の宗教ドラマ』	19-3-345
浅野裕一 著『古代中国の文明観—儒家・墨家・道家の論争』	19-3-346
末本文美士 著『日本宗教史』	19-3-348
インカ・ガルシラーソ・デ・ラ・ベータ 著『インカ皇統記（1）（2）』	19-4-468
ファン・カルロス・ゴメス 著	
『霊長類のこころ—適応戦略としての認知発達と進化』	19-4-470
梅田望夫 著『ウェブ進化論—本当の大変化はこれから始まる』	19-4-471
マイケル・トマセロ 著『心とことばの起源を探る—文化と認知』	19-4-473

【Random Scope】

健康に関する生活の質が日本人の男性では世帯年収と強く関連するが、女性では弱い	19-1-24
低公害車の燃料としての金属の可能性	19-1-33
地球温暖化が進むとヨーロッパは却って寒くなる？	19-2-148
Herceptin（ハーセプチン）の効果は誇大広告か？	19-2-185
あなたは24時間生き生きした生活をおくる準備ができていますか？	19-2-199
血友病は誤訳である	19-2-202
アメリカの引退したばかりの名誉教授がある国の国際会議に招待されたら	19-2-229
脳力を作るのは何？	19-3-257
一度加熱した水は凍らせやすい、何故か	19-3-269
簡単に消せる刺青	19-3-277
世界が忘れた食べ物の恐怖	19-3-308, 344
すしを食べると糖尿病になる？	19-4-410

がん研究の最前線	19-4-428
ヒトとチンパンジーは何が違うの？	19-4-437
生きたウイルスが食品添加物に	19-4-449
温暖化へのもう一つの対策・CO ₂ の活用	19-4-457
放射線の間接効果は何処まで広がるか？	19-4-467
穿刺をしないで細胞診ができる	19-4-467
植物状態の患者が意識反応を示した	19-4-472

Vol. 20 2007 年

巻・号・頁

【Editorial】

科学と社会：受容から見た3つのパターン	菅原 努	20-1-02
京都健康フォーラム「音とところとからだ」と余禄	菅原 努	20-2-164
社会と本誌の使命	菅原 努	20-3-292
イノベーション再訪	菅原 努	20-4-454

【特集】

〈本誌 20 周年の歩み〉

20 周年記念にあたって	菅原 努	20-1-11
本誌に見る理系の先見性—見えない公害病、 隠れた遺伝子、単一造血細胞、癌との共存	山岸秀夫	20-1-13
本誌に見る先見性の諸問題	内海博司	20-1-22
文系の思考と理系の思考	小南一郎	20-1-39
「環境と健康」へのメッセージ	大東 肇	20-2-211
他者との対話と知的創造	篠山重威	20-2-215

〈リスクと安全〉

日常生活のリスクと対応：市民のためのリスク情報社会に向けて	中谷内一也	20-1-43
安全とリスク学入門	菅原 努	20-1-47
高齢ドライバーのリスクとその対策	蓮花一己	20-1-51
放射線検査における利益とリスク—がん検診を中心に	飯沼 武	20-1-60
食肉の安全性確保—食肉による食中毒の発生とその対応—	品川邦汎	20-1-69
暮らしの安全の確保に向けて	浅岡美恵	20-1-85

〈治療医学から健康医学へ〉

特集にあたって	若井郁次郎	20-2-173
笑う門に福来る	菅原 努	20-2-175
痛みとは何か。拡大した見方からの説明の試み	ワルター・コフラー（柳川千恵：編訳）	20-2-177
笑い・生き甲斐・自然治癒力	伊丹仁朗	20-2-186
パネル討論「治療するより、まず健康」	竹下 賢・中井吉英・井上 宏・伊丹仁朗	20-2-196
まとめに代えて	仲上健一	20-2-209

〈食品と薬物成分のバイオサイエンス〉

“食品と薬物成分のバイオサイエンス”によせて	山室隆夫	20-3-299
食はいのち—“ゲノムプラス”で健康長寿を	家森幸男	20-3-300
カロテノイドと健康—その多様な生理作用—	眞岡孝至	20-3-313
高齢化時代とくすり—転換期を迎えたくすり事情—	野崎正勝	20-3-324

〈生体材料のバイオサイエンス〉

“生体材料のバイオサイエンス”によせて	山室隆夫	20-4-462
輸血の代替が可能な酸素輸液の実現と組織再生技術	酒井宏水・土田英俊	20-4-464
再生医療に必要な材料	筏 義人	20-4-473
骨と自然にくっつく人工の骨や関節	小久保正	20-4-485

〈画像で心（こころ）を探る〉

“画像で心（こころ）を探る”によせて	米倉義晴	20-4-499
赤ちゃんの心と脳の科学	多賀巖太郎	20-4-501
情とストレスを画像で探る	飯高哲也	20-4-508

感性～美と快～を画像で探る	本田 学	20-4-517
分子で探るころ	須原哲也	20-4-527

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：文理融合をめざして

11 心血管病と人種差	篠山重威	20-1-098
12 知られざる農薬	高柳 淳	20-2-218
13 新しいタイプの臨床試験：マイクロドーズ臨床試験 ・早期探索的臨床試験の国内導入の意義	馬屋原宏	20-3-336
14 鳥の歌から脳の仕組みを探る	渡邊 大	20-4-535

【JCSD プロジェクトシリーズ】

トップダウンの発想によるリスクマネジメント 第2部	佐久間秀武	20-1-106
栄養学がめざすものと日本人の食生活	吉田宗弘	20-3-356

【連載講座】

スポーツの常識・非常識 (I)	山室隆夫	20-1-116
(II)	山室隆夫	20-2-225
(III)	山室隆夫	20-3-377
(IV)	山室隆夫	20-4-547
漢字の散歩道 (II) ころの在り処	小南一郎	20-3-380

【トピックス】

食の倫理：もう一つの近代における生活術の一要素として ヴィルヘルム・シュミット (宇多 浩 編訳)		20-3-383
味覚の科学—味わうことの脳のしくみ—	山本 隆	20-4-550

【随想】

多機能ワクチンとしての BCG=CWS	林 昭	20-3-397
「仮名遣ひ」と文化の継承 —いはゆる「現代仮名遣ひ」の問題点について	久米直明	20-4-563

【サロン談義】

サロン談義 3 いのちの科学としての医学・医療 (II)		
問題提起：第2主題、科学と再現性をめぐって	菅原 努	20-1-119
コメント1：医療を支えるプラシーボ効果	中井吉英	20-1-121
コメント2：個別的現象は再現性の本質に収斂する	小川 侃	20-1-126
サロン談義 3 いのちの科学としての医学・医療 (III)		
問題提起：第3主題、高齢者と健康	菅原 努	20-2-239
コメント1：老年期についての断章	中井吉英	20-2-241
コメント2：生きることと死ぬこと、病気と健康、日常の茶飯事	小川 侃	20-2-246
サロン談義 3 いのちの科学としての医学・医療 (IV)		
問題提起：第4主題、医学の統合を目指して—感性を磨く	菅原 努	20-3-399
コメント1：日本人の感性—町医者父に連なる断章より	中井吉英	20-3-403
コメント2：疑薬効果、懐疑主義とホロンの生き方	小川 侃	20-3-409
サロン談義 3 いのちの科学としての医学・医療 (V)		
問題提起：第5主題、医療崩壊？ (最終回)	菅原 努	20-4-571
コメント1：医療崩壊—大学病院の現場から	中井吉英	20-4-574
コメント2：医療崩壊と健康革命—予防医学と健康科学のために	小川 侃	20-4-588

【NPO のページ】

腫瘍部位だけを加温する温熱免疫療法の開発	小林 猛	20-2-250
私の仮説：がん幹細胞とハイパーサーミア	菅原 努	20-3-414

【Books 談義】

山中康裕 著「子どもの心と自然」をめぐって

コメント4：無意識からしみ出すもの……………久米直明……………20-1-130

コメント4（回答）：未知の世界の第一歩……………山中康裕……………20-1-138

川出由己 著「生物記号論」をめぐって

コメント1：本格的な「生物学通論」—本書との出会い……………山岸秀夫……………20-1-140

コメント2：生物記号論と経営哲学……………村田晴夫……………20-1-142

コメント3：生物記号論総論から各論への期待……………菅原 努……………20-1-145

コメント4：圧倒的な「生物記号論」……………村松 繁……………20-1-147

コメント1～4への応答……………川出由己……………20-1-149

中井吉英、大東 肇 編「香りでこころとからだを快適に」をめぐって

コメント1：大学と社会から漂う文理融合の寄り合いの香り……………山岸秀夫……………20-2-255

コメント2：人間の五感と「にほひ」の現われ方……………小川 侃……………20-2-257

コメント3：ヒトは何故にみどりの香りによって……………畑中顯和……………20-2-260

リフレッシュするのか

コメント4：“嗅覚とからだところ” 丹波の山あいより……………雨貝 孝……………20-2-265

コメント5：匂いがいい京都の水……………尾池和夫……………20-2-267

コメント6：香りを取り戻す人間本来のリズム……………菅原邦雄……………20-3-428

高林純示 著「虫と草木のネットワーク」をめぐって

コメント1：理系の言葉で語る「みどりの香り」とその情報シグナル……………山岸秀夫……………20-2-270

コメント2：昆虫誘引物質研究のあれこれ：農業技術への応用も……………栗原紀夫……………20-2-272

コメント3：生物の世界と匂いの網目構造：……………小川 侃……………20-2-275

新しい環境哲学のための覚書

コメント4：香りの世界から……………横山三男……………20-3-430

コメント5：子ども達をワクワクさせる自然界の不思議の謎解き……………山中康裕……………20-3-432

コメント6：「植物とヒトの不思議な関係の実証的基礎研究」から……………畑中顯和……………20-3-434

コメント7：自然の合理性—数学的に正しい行動の不思議……………菅原邦雄……………20-3-438

コメント8：ケミカルネットワークが織り成す……………松田一彦……………20-4-592

生体相互作用：その美しさから学ぶもの

【Books】

伏木 亨、山極寿一 編著『いま食べることを問う』……………20-1-154

内堀基光、山下晋司 著『死の人類学』……………20-1-155

正高信男 著『ヒトはいかにヒトになったか—ことば・自我・知性の誕生』……………20-2-280

マーク・S・ブランバーク 著『本能はどこまで本能か—ヒトと動物の本能の起源』……………20-2-282

井上昌次郎 著『眠りを科学する』……………20-2-283

小川洋子、岡部恒治、菅原邦雄、宇野勝博 著『博士がくれた贈り物』……………20-2-284

スティーブン・ミズン 著『歌うネアンデルタール—音楽と言語から見るヒトの進化』……………20-3-440

近藤元治 著『ドク ガンと闘う—ドクシリーズ第一話』……………20-3-441

徳川恒孝 著『江戸の遺伝子』……………20-3-442

植物の軸と情報 特定領域研究班 編『植物の生存戦略「じっとしているという知恵」に学ぶ』……………20-3-443

竹林一志 著『「を」「に」の謎を解く』……………20-4-595

西田利貞 著『人間性はどこから来たか—サル学からのアプローチ』……………20-4-596

末木文美士 著『他者／死者／私—哲学と宗教のレッスン』……………20-4-597

河野泰弘 著『視界良好—先天性全盲の私が生活している世界』……………20-4-598

加藤周一 著『日本文化における時間と空間』……………20-4-599

【Random Scope】

すばらしい可能性を秘めた抗癌剤だが、一体何処が製品化するか……………20-1-068

妊娠中のたった一回の大酒が胎児の発達に障害を与える……………20-1-097

うそが痛みを増強する……………20-1-129

地球氷河期は来ないのか……………20-1-156

携帯電話も環境汚染のリスクあり……………20-2-172

ご馳走をたらふく食べながら長生きする方法……………20-2-176

ICPP2007 報告の内幕……………20-2-185

アメリカの軍陣医学	20-2-210
がん予防剤	20-2-224
近代生活は男性に不利?	20-2-238
超優性の新しい例	20-2-254
ビタミンCは錠剤より果物で	20-2-269
ほんとの毒は何?	20-2-279
新しい電球: 発光ダイオード	20-3-312
ミンク鯨肉の身元調査に DNA 鑑定	20-3-335
炭酸ガスだけでないもう一つのリサイクルの必要な物	20-3-376
今までの動物実験は本当に大丈夫か	20-3-382
磁場の力で記憶力を回復することが出来るか	20-3-427
コンピューターゲームで脳のトレーニング	20-3-429
バイパス手術で糖尿病を治す?	20-4-463
肥満はウイルス感染による?	20-4-472
薄型テレビ用のインジウム代替品を求めて	20-4-500
がん免疫の個人差	20-4-516
ヒトの皮膚を使った動物実験代替法で皮膚刺激を評価	20-4-526
学会参加とグリーン志向	20-4-534
鳥は人間よりもっと高く飛べる	20-4-546

Vol. 21 2008 年

巻・号・頁

【Editorial】

マウスとヒト	菅原 努、渡邊正己	21-1-02
教育を考える	菅原 努	21-2-136
不特定多数の者とは	菅原 努	21-3-270
ある大学教授の定年後の生き方	菅原 努	21-4-386

【特集】

〈山・川・海をつなぐ水といのちの物語〉

特集にあたって	編集委員会	21-1-12
流域の健康診断: 最近の動向と琵琶湖—淀川水系	和田英太郎	21-1-13
虫から流域をみる	古屋八重子	21-1-24
エビの旅から流域をみる	原田英司	21-1-32
臨床心理学から流域をみる	山中康裕	21-1-35
環境社会学から琵琶湖・淀川流域をみる	嘉田由紀子	21-1-39
—なつかしい未来の流域実現にむけて—		

〈いのちを考えよう〉

特集 “いのちを考えよう: 医療・宗教・

スピリチュアリティ”に当たって	中井吉英	21-2-145
魂の痛みへのケア—スピリチュアルケアとは	窪寺俊之	21-2-148
いのちに寄り添う。息（スピラール）に寄り添う	内藤いづみ	21-2-155
いのちの医療・いのちの宗教	奈倉道隆	21-2-164
真実の「いのち」を求めて。一切の有情は、 みなもって世々生々の父母兄弟なり	高 史明	21-2-174

〈画像でヒトをみる〉

特集 “画像でヒトをみる”によせて	富樫かおり	21-3-278
がんと戦うための画像診断: PET 検査の役割とは?	中本裕士	21-3-279
320 列面検出器 CT の臨床	片田和宏	21-3-288
MRI による病気の診断: 現在可能なこと及びこれからの可能性	杉村和朗	21-3-297
「画像で脳の働きをみる」脳科学情報の読み解き方	定藤規弘	21-3-303

〈睡眠の科学：快眠のよろこび〉

特集 “睡眠の科学：快眠のよろこび” によせて	篠山重威	21-4-393
睡眠と健康	陳 和夫	21-4-394
脳を休ませるしくみ	内山 真	21-4-404
眠れない 眠くて困る こんなに多い睡眠障害	大川匡子	21-4-415
酸素で快眠、ペンブリーの夢	篠山重威	21-4-426
眠りの秘密	早石 修	21-4-437

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：文理融合をめざして

15 Eggciting な卵の研究（卵の栄養・調理・健康機能）	八田 一	21-1-42
16 文学を通して見たロシア人の死生観	木村 崇	21-2-179
17 環境経済学は何を目指すか	植田和弘	21-4-450

【JCSD プロジェクトシリーズ】

水循環をめぐる地域と環境の取り組みについて	上野裕士	21-3-313
琵琶湖周辺の農業地域における新たな水・水辺の利活用	松 優男	21-3-322

【連載講座】

スポーツの常識・非常識 (V)	山室隆夫	21-1-55
(VI)	山室隆夫	21-2-190
(VII)	山室隆夫	21-3-329
不老長寿を考える (I)	山室隆夫	21-4-454
漢字の散歩道 (Ⅲ) 生という漢字	小南一郎	21-2-193
感染症あれこれ (I) ウイルスにより病原化する細菌	今西二郎	21-4-458

【トピックス】

食材のリサイクルと食事の環境	藪下義文	21-1-58
イオンビームを用いて植物の新品種を創る	田中 淳	21-2-198
電磁場と健康	宮越順二	21-3-332

【随想】

13 才の少年が生きた終戦—東京大空襲、旅順での終戦、ソ連軍侵攻、大連での生活、引揚げ	瀬野悍二	21-1-73
---	------	---------

【サロン談義】

サロン談義 4 (I) 教育改革に対する私見	岡本道雄	21-1-80
(II) 親孝行について	岡本道雄	21-2-208
(III) 愛国心について	岡本道雄	21-4-462
サロン談義 5 より良い医療を目指して		
問題提起：患者中心の評価とは？	菅原 努	21-2-216
コメント1：医学と医療をつなぐ研究が欲しい	中井吉英	21-2-219
コメント2：医療の良識：臨床試験における倫理性	篠山重威	21-3-343

【NPO のページ】

サーモトロンは多機能である	菅原 努	21-3-350
対がん戦略のあり方	菅原 努	21-4-475

【Books 談義】

中井吉英 著「いのちの医療—心療内科医が伝えたいこと」をめぐって		
コメント1：生かされて生きるいのち	山岸秀夫	21-1-85
コメント2：医者と患者の昔と今	岡本浩二	21-1-86
コメント3：近未来医療のありかた	小笹寧子	21-1-89
コメント4：医療人の原点の確認	南淵明宏	21-1-91

コメント5：病院の“支援”態勢と患者のこころ —人間的な雰囲気のために	田隅本生	21-2-229
熊澤孝朗 著「痛みを知る」をめぐって		
コメント1：「痛み」という疾病：慢性痛	山岸秀夫	21-1-93
コメント2：生と運動の哲学者、ベルクソンと痛み— 『痛みを知る』と『いのちの医療』を読んで	小川 侃	21-1-94
コメント3：動く喜び、動ける幸せ	中山彰一	21-1-98
コメント4：鍼灸医学の立場から痛みを診る	渡邊勝之	21-1-100
コメント5：痛みの治療	小笹寧子	21-2-233
大東 肇、中井吉英 編「味覚が与えてくれる安らぎの暮らし」をめぐって		
コメント1：食に寄せられるこころと「味わい」	山岸秀夫	21-1-105
コメント2：活断層盆地の水	尾池和夫	21-1-106
コメント3：処変われば品変わる	横山三男	21-1-109
コメント4：日本酒の特徴を決定づけたものは？	杉並孝二	21-1-113
大東 肇、中井吉英 編「モーツァルトを聴くとなぜ癒されるのか」をめぐって		
コメント1：聴覚は心琴に触れるリハビリ	山岸秀夫	21-2-236
コメント2：癒しにつながる音楽	本庄 巖	21-2-238
コメント3：「聴覚の力、音楽による癒し、そして 聴くことのメカニズム」を楽しむ	栗原紀夫	21-2-239
コメント4：癒し音楽	瀬野悍二	21-2-240
コメント5：「CDではなぜ癒されないか」と 「音楽の力」に対する音響学雑感	大串健吾	21-2-242
コメント6：「音」や「身体」についての科学的な知識 を必要とする音楽教育のあり方を考える	松村直行	21-2-249
コメント7：人はなぜモーツァルトに魅せられるか、 一つの抗しがたい力	篠山重威	21-2-254
コメント8：免疫学からの雑感	横山三男	21-3-358
コメント9：トマティストレーニングと高周波音	文珠陸男	21-3-365
コメント10：受動的音楽療法として活用できる モーツァルトの音楽	和合治久	21-3-366
コメント11：「いやし」とは、ゆるすこと、受け入れること —モーツァルトの音楽やボイスアートは癒しになるのか—	まやはるこ	21-3-369
西田利貞 著「チンパンジーの社会」をめぐって		
コメント1：名前を知っている友人達の物語	山岸秀夫	21-4-481
コメント2：集団対抗遊戯と言語	小川 侃	21-4-483
コメント3：進化戦略見直しの時代？	丹羽太貫	21-4-487
コメント4：ヒトのいところ：チンパンジー	栗原紀夫	21-4-490
コメント5：チンパンジーの雌雄に見る相補的な生き様	岩槻邦男	21-4-493
コメント6：チンパンジーに「もの思う」	秋山麗子	21-4-495

【Books】

桜井芳雄 他 著『ブレインマシン・インタフェース最前線—脳と機械を結ぶ革新技術』	21-1-119
竹本修三、駒込武 編『京都大学講義「偏見・差別・人権」を問い直す』	21-1-120
尾池和夫 著『俳景3』	21-1-121
慶応義塾大学教養研究センター 編『生命を見る・観る・診る—生命の教養学Ⅲ』	21-2-258
針山孝彦 著『生き物たちの情報戦略—生存をかけた静かなる戦い』	21-2-259
森岡孝二 編著『格差社会の構造—グローバル資本主義の断層』	21-2-260
池田光穂・奥野克己 共編著『医療人類学のレッスン—病をめぐる文化を探る』	21-2-261
阿部幸夫 著『教育は格差社会を救えるか』	21-3-372
ミルドレッド・ブラクスター 著（渡辺義嗣監訳）『健康とは何か—新しい健康観を求めて』	21-3-373
伏木信次、檜 則章、霜田 求 共編著『生命倫理と医療倫理—改訂2版』	21-3-374
永田和宏 著『タンパク質の一生—生命活動の舞台裏』	21-3-375
鈴木 孝 著『ディーゼルエンジンと自動車—陰と光 生い立ちと未来』	21-3-376
むのたけじ 著『戦争絶滅へ、人間復活へ—93歳・ジャーナリストの発言』	21-4-499
伊東隆夫 編著『木の文化と科学』	21-4-500

前田裕子 著『水洗トイレの産業史』	21-4-501
升味準之輔 著『なぜ歴史が書けるか』	21-4-503

【Random Scope】

バイオ燃料としてアルコールに代わるもの	21-1-034
がんに対する免疫監視の証拠	21-1-084
子供たちの科学離れ	21-2-192
間違った警報：水銀の種類が違った	21-2-197
地球温暖化でくらげが増える	21-2-215
白アリの効用	21-2-235
科学者のサラリー	21-2-263
伝統的な中国医学の謎を解く	21-2-263
肥満はマウスをマラリアから護る	21-3-312
米国会計検査院（GAO）が調査に乗り出した臓器移植プログラムの不祥事	21-3-321
猛毒の硫化水素を薬に？	21-3-342
肥満を招くウイルス	21-3-349
ポパイのほうれん草	21-3-377
グリーンピースの勝利	21-4-403
地上核爆発実験の思わぬ効用	21-4-449
マラリアは減っている？	21-4-453
臓器移植はスペインが一番	21-4-498
放射性物質の不足	21-4-507

Vol. 22 2009 年

巻・号・頁

【Editorial】

アルツハイマー病の治療はどこへ向かうのか	菅原 努	22-1-02
満開の桜に思う	山岸秀夫	22-2-140
老いと癒し	篠山重威	22-3-272
もう一つの 3R	菅原 努	22-4-378

【特集】

〈共に生きる〉

特集“共に生きる”にあたって	菅原 努	22-1-10
共生可能な‘まちづくり’	池上 惇	22-1-12
医学と文化	本庄 巖	22-1-20
写経のころ	岡澤禎華	22-1-29
画像が示す認知症の頭の世界	尾内康臣	22-1-34
「いのちの科学」とボイスアートの出会い	まやはるこ	22-1-46
コメント1：ボイスアートの初体験：声とところの雰囲気	小川 侃	22-1-47

〈森を見つめなおすー文化としての自然ー〉

特集にあたって	若井郁次郎	22-2-148
東南アジア熱帯雨林における開発とそこに暮らす人々	市川昌広	22-2-149
保護地域と住民：		
パプアニューギニアにおける野生生物管理地域・・ジェーン・モギナ（Jane Mogina）		22-2-157
ノルウェーの文化と森の保全ー健康増進との関係ーグンナー・テルネス（Gunner Tellnes）		22-2-164
森への自省的回帰	北尾邦伸	22-2-170

〈老化の研究：元気で長生きするために〉

特集“老化の研究”にあたって：米寿を迎えて	菅原 努	22-3-281
百寿者調査よりみたヒト長寿科学	広瀬信義	22-3-283
生物の寿命：その再生力と起源	三井洋司、高橋知子	22-3-289
アンチエイジングとは	南山幸子、吉川敏一	22-3-296

仏教からみた老いといのち	池口恵観	22-3-305
現代養生訓をめぐって：座談会	江口 敏	22-3-313
〈太陽紫外線のリスクを考える〉		
特集“太陽紫外線のリスクを考える”にあたって	菅原 努	22-4-386
ビタミンDと太陽紫外線	二階堂 修	22-4-388
太陽紫外線でなぜ皮膚が黒くなるの？	市橋正光	22-4-406
太陽紫外線による免疫抑制と皮膚ガン	錦織千佳子	22-4-413
太陽紫外線が及ぼす眼の疾患	大平明弘	22-4-419

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：文理融合をめざして

18 健康と寿命に及ぼす糖類の非酵素的反応 —メイラード反応の意義—	速水醇一	22-2-179
---------------------------------------	------	----------

19 科学コミュニケーションを教育哲学から考える	鈴木晶子	22-3-322
--------------------------	------	----------

テーマ：共に生きる

20 共生の生態学について	清水 勇	22-4-428
---------------	------	----------

【JCSO プロジェクトシリーズ】

ガバナンスは森林に健康を取り戻す

—都市水源林・森林環境税・森林認証—	高橋卓也	22-1-49
リスク社会を見る目—総合的アプローチを目指して—	酒井泰弘	22-2-189
環境用水をめぐる諸問題—その可能性を中心に—	秋山道雄	22-4-441

【連載講座】

不老長寿を考える (Ⅱ)	山室隆夫	22-1-71
(Ⅲ)	山室隆夫	22-2-205
(Ⅳ)	山室隆夫	22-3-330
(Ⅴ)	山室隆夫	22-4-455
漢字の散歩道 (Ⅳ) 文と武	小南一郎	22-1-76
感染症あれこれ (Ⅱ) メタボ、リウマチはウイルス病？	今西二郎	22-2-210
(Ⅲ) 環境と感染症	今西二郎	22-4-461

【トピックス】

大量消費社会から縮小社会へ	石田靖彦	22-2-215
JCO 事故における造血幹細胞移植をめぐって	宮澤正顯	22-3-335

【随想】

嵯康の「養生論」	小南一郎	22-3-352
----------	------	----------

【サロン談義】

サロン談義 4 (Ⅳ) 戦争について —アインシュタインとフロイトの悲しみ—	岡本道雄	22-1-85
(Ⅴ) 病中論文の総括—近代の超克—	岡本道雄	22-2-228
コメント 1：アインシュタインの家	秋山麗子	22-2-240
サロン談義 6 資本主義の行方		
問題提起：資本主義はお嫌いですか？	萬野善昭	22-1-99
コメント 1：人間の強欲さと弱さ	秋山麗子	22-1-112
コメント 2：素人の資本主義批判	菅原 努	22-2-244
コメント 3：「大量消費社会から縮小社会へ」に関連して	戸松孝夫	22-3-354
コメント 4：資本主義の行方を考える	萬野善昭	22-4-468
コメント 5：資本主義の美德	秋山麗子	22-4-491

【Books 談義】

西田利貞 著「チンパンジーの社会」をめぐって	
コメント7：人間を超えた思考の世界	山極寿一 22-1-114
コメント8：「チンパンジー用物差し」でヒトを測る	明和政子 22-1-116
コメント9：チンパンジー社会の科学から人間社会を考える	高濱洋介 22-2-249
大東 肇、中井吉英 編「眼がとらえた情報がこころに与える影響」をめぐって	
コメント1：（内容紹介を兼ねて）視覚の多様性と共生のシグナル	山岸秀夫 22-1-120
コメント2：視覚について思うこと	本庄 巖 22-1-122
コメント3：植物と昆虫の共進化と害虫防除	藤崎憲治 22-2-251
コメント4：眼がとらえる情報が我々や動植物に もたらしてくれるもの	栗原紀夫 22-2-253
コメント5：虫の眼について	清水 勇 22-2-256
中井吉英・大東 肇 編「いのちに触れるコミュニケーション」をめぐって	
コメント1：（内容紹介を兼ねて）サイエンスとアートの 融合としての触覚	山岸秀夫 22-4-497
コメント2：「触る」や「触れる」がもたらすもの	栗原紀夫 22-4-498

【Books】

和田昭允 著『生命とは？物質か！』	22-1-124
西田利貞 著『新・動物の「食」に学ぶ』	22-1-125
田中二郎 著『ブッシュマン、永遠に。—変容を迫られるアフリカの狩猟採集民』	22-1-126
鯉坂 学・小松秀雄 編『京都の「まち」の社会学』	22-1-127
京都大学総合博物館・京都大学生態学研究センター 編 『生物の多様性ってなんだろう？—生命のジグソーパズル』	22-2-260
マルコム・ゴールドスミス 著（寺田真理子 訳）	22-2-261
『私の声が聞こえますか—認知症がある人とのコミュニケーションの可能性を探る』	
相原由花 著『香りとタッチングで患者を癒す臨床アロマセラピストになる— 一命のそばで寄り添うケアリングとは』	22-2-262
宇野勝博・菅原邦雄 著『きらめく数学』	22-2-263
リサ・シークリスト・チウ 著（越智典子 訳）『もしかしたら、遺伝子のせい!?!』	22-2-264
高木由臣 著『寿命論—細胞から「生命」を考える』	22-3-358
柴田 博 著『ここがおかしい日本人の栄養の常識—データでわかる本当に正しい栄養の科学』	22-3-359
田村正勝 編著『ボランティア論—共生の理念と実践』	22-3-360
濱野清志 著『覚醒する心体—こころの自然・からだの自然』	22-3-361
茨木 保 著『まんが 医学の歴史』	22-3-362
久保田宏・松田 智 著『幻想のバイオ燃料—科学的見地から地球環境保全対策を斬る』	22-4-501
内田義彦 著（山田鋭夫 編）『学問と芸術』	22-4-503
リータ・レーヴィ・モンタルチャーニ 著（齋藤ゆかり 訳）『老後も進化する脳』	22-4-504
佐伯啓思 著『大転換—脱成長社会へ』	22-4-506
岩槻邦男 著『生物多様性のいまを語る』	22-4-507

【Random Scope】

アラスカで酒税が死亡を減らした	22-1-19
がん手術後に再発を食い止めるには	22-1-45
海洋エネルギー変換 Ocean Thermal Energy Conversion (OTEC) とは？	22-1-75
心臓で電気を起こす	22-1-119
薬剤の一部を重水素で置き換えると？	22-2-169
突如エイズウィルス（HIV）撲滅の希望が出てきた	22-2-178
エジソンの復讐なるか？	22-2-188
血管新生阻害剤はがん治療に役立つか	22-2-209
甘味飲料に税を	22-3-288
北朝鮮の核実験は本当か？	22-3-295
健康寿命を支える役割の一端を担うコウジキンは「国菌」	22-3-304
指紋が消える	22-3-312
原子力のハイブリッド	22-3-321

ヒトと異なる免疫系の発見	22-3-351
超過勤務と研究チームリーダーの生き残り	22-3-357
森の木々からの香りも大気汚染と関連するか？	22-3-371
新型インフルエンザ (H1N1) の高リスク群に肥満を加えるべきである	22-4-387
温室効果ガスの毒性	22-4-427
心臓疾患に必須の抗血液凝固剤も遺伝体質次第	22-4-440
結核菌を 30 分で見つける方法	22-4-467

Vol. 23 2010 年

巻・号・頁

【Editorial】

健康願望とがん検診	篠山重威	23-1-002
子は親に似るか？	山岸秀夫	23-2-140
「無用の用」と「不易流行」	山岸秀夫	23-3-252
地方文化の先見性を記録に残す—菅原 努 編集委員代表を追悼して—	山岸秀夫	23-4-406

【特集】

〈画像で病気を探る〉

特集“画像で病気を探る”にあたって	鳥塚莞爾	23-1-10
認知症の病態を映し出す	尾内康臣	23-1-12
PET 検診でがんを探る	西澤貞彦	23-1-20
画像診断による乳がんの早期発見・診断・治療	三瀬圭一	23-1-32
予防画像医学—予防医学の新しいパラダイム	飯沼 武	23-1-39

〈新型インフルエンザにかからないために〉

特集“新型インフルエンザにかからないために”にあたって	今西二郎	23-2-147
新型インフルエンザ流行の現状と対策—行政の立場から—	成瀬昭二	23-2-149
新型インフルエンザウィルスの特徴	大槻公一	23-2-160
新型インフルエンザにかからないための感染対策	藤田直久	23-2-170
新型インフルエンザワクチンの現状と課題	奥野良信	23-2-179

〈われら地球の共生家族—いのちを育む共生の仕組み〉

特集“われら地球の共生家族		
—いのちを育む共生の仕組み“にあたって	清水 勇	23-3-260
サンゴ礁生物における共生とは	竹村明洋	23-3-262
森の生物多様性を支える共生の仕組み	市岡孝朗	23-3-271
シロアリと共生微生物—多様性を生み出す微生物との共生系—	北出 理	23-3-285
地球環境における共生システムとは	湯本貴和	23-3-296

〈宇宙、心身、いのち (I)〉

特集“宇宙、心身、いのち”にあたって	鈴木晶子	23-4-414
イチローの活躍から学ぶ脳とこころの活性化	西野仁雄	23-4-416
武道と心	寒川恒夫	23-4-425
言語と多義性：知性進化の神経生物学	入来篤史	23-4-432
動物はこころが読めるか	藤田和生	23-4-439
言葉から生まれる発想の転換	鈴木晶子	23-4-449

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：共に生きる

21 殺虫剤から見た生物学	松田一彦	23-1-48
22 臨床心理学からみた「気」の意味	濱野清志	23-2-186
23 近代思想・仏教思想といのちの科学	奈倉道隆	23-3-307
24 西洋の自然概念の歴史と問題点	シュペネマン・クラウス	23-4-455

【JCSD プロジェクトシリーズ】

水利権と水利権市場—日豪比較を中心に—	近藤 学	23-1-59
地域資源管理論の新展開—入会林野と漁民の森運動の事例から—	三俣 学	23-4-467

【連載講座】

不老長寿を考える (VI)	山室隆夫	23-1-80
(VII)	山室隆夫	23-2-193
(VIII)	山室隆夫	23-3-314
(IX)	山室隆夫	23-4-483
感染症あれこれ (IV) からだを守る微生物—プロバイオティクス—	今西二郎	23-4-488

【トピックス】

かしこく紫外線防止	長沼雅子	23-1-87
医療における音楽療法のあり方とその可能性	呉 東進	23-1-97
ひとはどのように物を見ているか？ どうして見えなくなるのか？	西嶋一晃	23-2-199
太陽紫外線を巡る今日の課題	佐々木政子	23-3-320
財団法人体質研究会の沿革と新公益法人としての発足	鳥塚莞爾	23-4-493

【随想】

印刷文化の行方を思う	秋山麗子	23-2-206
科学と人生：孫との対話	菅原 努	23-2-209
悠久のペルシャで	本庄 巖	23-3-335
科学の演奏—科学と音楽に共通するもの—	秋山麗子	23-3-340
言語学者、半田一郎先生を偲ぶ	秋山麗子	23-4-495
—「一会一期；機縁終身 Once for Life」のご縁—		

【サロン談義】

サロン談義 7 生物多様性を考える		
問題提起：生物多様性を語る	岩槻邦男	23-2-214
コメント1：生物多様性問題—遺伝子多様性の保全について—	清水 勇	23-2-221
コメント2：生物多様性条約と気候変動枠組条約について	草刈秀紀	23-3-348
コメント3：生物多様性の課題をより身近に	橋本佳延	23-3-354
感じられるものとするために		
コメント4：人類に覚悟ありや	瀬野悍二	23-3-359
コメント5：日本列島の植物の遺伝子多様性と生態系の多様性	村上哲明	23-3-363
コメント6：「生物生産物利用の食糧確保という営為」	栗原紀夫	23-4-512
対「生物多様性保全」		
コメント7：生物多様性論議は一過性でなく	岩槻邦男	23-4-516
コメント8：海洋生物の多様性を明らかにする国際的な試み	白山義久	23-4-522
サロン談義 8 変貌する世界		
問題提起1：資本主義経済・政治体制は賞味期限を過ぎたのか？	中西 香	23-3-371
—現代世界の「うねり」と「試練」—		
コメント1：果たして資本主義は落日を迎えたか？	木下富雄	23-3-384
—様々な資本主義経済社会—		
コメント2：地球の重みと人間の重み	秋山麗子	23-3-387
問題提起2：地球は怒っている—温暖化をめぐる動き—	中西 香	23-4-529
コメント3：お金のかかる省エネルギー対策は本物か	石田靖彦	23-4-539
コメント4：縮小社会への軟着陸	松久 寛	23-4-543

【Books 談義】

中井吉英・大東 肇 編「いのちに触れるコミュニケーション」をめぐって		
コメント3：気の接触から物体の接触へ	前田比良聖	23-1-103
コメント4：幽霊好みの香りの品々：		
日本でのアロマセラピーの起源と発展によせて	横山三男	23-1-104

コメント5:「觸」の根源を訪ねる: Back to Fundamentals	秋山麗子	23-1-108
コメント6: 触覚について考えさせられる事	一色信彦	23-1-113
コメント7: いのちが触れあう介護を	奈倉道隆	23-1-117

【Books】

須藤 功 著『大絵馬ものがたり(全5巻)―第1巻 稲作の四季』	23-1-118
堀切直人 著『原っぱが消えた―遊ぶ子ども達の戦後史』	23-1-120
仲正昌樹 著『なぜ「自由」は不自由なのか―現代リベラリズム講義』	23-1-121
阿古智子 著『貧者を喰らう国―中国格差社会からの警告』	23-1-122
正村俊之 著『グローバリゼーション―現代はいかなる時代なのか』	23-2-229
マリオン・ネッスル 著(久保田裕子、広瀬珠子 訳)『食の安全―政治が操るアメリカの食卓』	23-2-230
前田 壘 著『紙の本が亡びるとき?』	23-2-231
佐々木閑 他4名 著『脳を知る・創る・守る・育む11』	23-2-232
ピーター・D・ウォード 著(長野 敬、赤松真紀 訳)『地球生命は自滅するのか? ガイア仮説からメディア仮説へ』	23-2-233
森 公章 著『遣唐使の光芒―東アジアの歴史の使者』	23-3-391
李 進熙 著『江戸時代の朝鮮通信使 新装改訂版』	23-3-392
辻本雅史 著『教育を「江戸」から考える―学び・身体・メディア』	23-3-394
櫛島次郎 著『生命の研究はどこまで自由か―科学者との対話から』	23-3-395
赤嶺 淳 著『ナマコを歩く―現場から考える生物多様性と文化多様性』	23-4-547
川田順造 著『文化を交叉させる―人類学者の眼』	23-4-548
竹内章郎 著『平等の哲学―新しい福祉思想の扉をひらく』	23-4-550

【Random Scope】

ヨーロッパでの化学物質規制の新しい動き	23-1-047
涙の出ないタマネギ: 香味や健康機能性は保持	23-1-057
発生二酸化炭素を大気中に放出せず回収し封じこめる事業	23-1-058
プロポリスの原料になる植物は?	23-1-079
地球温暖化の傾向は続いているのか、止まっているようにも見えるが	23-1-130
子供に対するサプリメントの与え過ぎに注意	23-2-198
アルツハイマー治療薬は再び迷宮入りか?	23-2-227
欧米での化学物質規制には依然として困難な課題がある	23-2-228
アスワンハイダムの影響か、将来海に水没が危惧されるナイルデルタ	23-3-313
海水温は年々上がっている! 地球温暖化傾向を示しているのか?	23-3-334
地球温暖化でマラリヤは広がるか	23-3-339
アルツハイマー治療薬は再び迷宮入りか?	23-3-347
食品表示偽装に対する強力な武器	23-3-370
海苔や昆布はどんな人でもホントに消化できるのか	23-3-390
化学物質の安全規制: アメリカの状況	23-3-396, 399
水の安全性確保と生物多様性維持	23-4-438
生物多様性関連の国際的な取り組み	23-4-482
資源持続性を損なわない大規模漁業	23-4-492
地球上で人類は将来も飢餓に陥らず生き残れるか?	23-4-511

Vol. 24 2011 年

巻・号・頁

【Editorial】

言語と心の教育―小児期の母親の役割	本庄 巖	24-1-02
リスク管理と戦略的思考	竹下 賢	24-2-140
フィールドから発信する高度文明社会への警告	山岸秀夫	24-3-296
―西田利貞編集顧問を追悼して―		
激動の時代に生きる	山岸秀夫	24-4-430

【特集】

〈こころと身はひとつ—心身医学、臨床心理学と東洋医学—〉

特集：“こころと身はひとつ……………	小川 侃……………	24-1-11
—心身医学、臨床心理学と東洋医学—” にあたって		
東洋医学における心身……………	今西二郎……………	24-1-13
自然に帰する……………	吉田喜久子……………	24-1-20
東洋医学における心身連続の意味の多様さ……………	梶原真司……………	24-1-30
「身」の心身医学—からだの声、こころの声を聴く—……………	中井吉英……………	24-1-40
心身医学と臨床心理学—対比から協働に向けて……………	高橋 昇……………	24-1-49
生命の一元論……………	小関彩子……………	24-1-59

〈宇宙と生命の歩みと放射線〉

特集：“宇宙と生命の歩みと放射線” にあたって……………	保田浩志……………	24-2-149
宇宙に挑む生命の力……………	大西武雄……………	24-2-151
太陽光、その恩恵と脅威……………	藤堂 剛……………	24-2-158
太陽の光と影……………	柴田一成……………	24-2-168

〈宇宙、心身、いのち（Ⅱ、Ⅲ）〉

無重量の身体に宿る意識と心……………	跡見順子……………	24-2-175
—宇宙飛行士毛利衛さん、教育哲学の鈴木晶子さんと語る		
重力場が生みだした人間と身体文化に学ぶ—環境と身体—……………	跡見順子……………	24-3-328
自らの身体が広大な自然への窓口……………	竹森 重……………	24-3-338
テキストの身体化—素読の教育文化—……………	辻本雅史……………	24-3-343

〈ガイア・メディスン—自然と人とのつながりの医療をめざして〉

特集：“ガイア・メディスン……………	中井吉英……………	24-3-302
—自然と人とのつながりの医療をめざして” にあたって		
最適のセルフヒーリング—進化の……………	エリック・ペッパー（竹林直紀、土井麻里 編訳）	24-3-304
本質を尊重しながら、体と心と魂のつながりを強化する		
インドの自然観と健康の秘訣……………	塩谷サルフィ・マクスーダ……………	24-3-311
「拡張した心」のなかの脳：哲学的心身論の視点……………	河野哲也……………	24-3-315
よみがえる脳—脳は環境の変化に対応し何歳になっても変わり続ける…	生田 哲……………	24-3-325

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：共に生きる

25 寿命の意味……………	高木由臣……………	24-1-68
26 ニホンミツバチの不思議な生態……………	坂本文夫……………	24-2-202
27 シルクロードと木材……………	伊東隆夫……………	24-3-354

【JCSO プロジェクトシリーズ】

琵琶湖の内湖再生のための環境ガバナンス……………	高津融男……………	24-2-212
—早崎内湖の再生活動の事例を中心にして—		

【連載講座】

不老長寿を考える (X)……………	山室隆夫……………	24-1-76
(XI、終章)……………	山室隆夫……………	24-2-223
漢字の散歩道 (V) 数字は符号か、文字か……………	小南一郎……………	24-1-82
メタボの正体 (I)……………	篠山重威……………	24-1-87
(II)……………	篠山重威……………	24-2-230
(III)……………	篠山重威……………	24-3-364
感染症あれこれ (V) 役に立つウィルス……………	今西二郎……………	24-3-379

【トピックス】

危機にある地域医療に携わって……………	小西淳二……………	24-1-96
原子力安全神話からの脱却……………	西原英晃……………	24-2-242

【コラム】

「なるほど」と「ほどほど」の「あわい」	山岸秀夫	24-1-104
東日本大震災に想う—自然と向き合う現代文明—	山岸秀夫	24-2-250
進化の立場からヒトの疾患を考える	本庄 巖	24-3-383

【随想】

“ロスの赤ひげ先生” 讃歌	秋山麗子	24-3-386
---------------	------	----------

【オピニオン】

連載：医師になるということ—若い人たちのために—

(Ⅰ) 社会が医師に求めているもの	萬野裕彦	24-2-254
(Ⅱ) 医師という職業について	萬野裕彦	24-3-397

【サロン談義】

サロン談義 8 変貌する世界

問題提起 3：世界の政治変貌から見えるもの	中西 香	24-1-107
コメント 5：政体の比較と評定	八木紀一郎	24-1-116
コメント 6：生き甲斐のある社会を目指して	上田公介	24-1-121
問題提起 4：理想の人間世界とは	中西 香	24-2-263
コメント 7：企業経営と社会システム	三浦哲男	24-2-275

—巨大企業（超国家企業）の役割と責任—

コメント 8：資本主義、制度、下からのカー帝国とマルチチュード	山本泰三	24-2-279
---------------------------------	------	----------

サロン談義 9（連歌形式）生老病死の医療

第一主題（発句）：死生観について—医療における物語性—	中井吉英	24-3-405
（二句）：末期心不全と緩和医療	小笹寧子	24-4-596
（三句）：がん患者さんといのちの医療	上田公介	24-4-598
（四句）：治らない病気	本庄 巖	24-4-600
（挙句）：宗教に問われていること—人々の心に届く死生観—	窪寺俊之	24-4-603
第二主題（発句）：高齢者医療— Japan Syndrome について—	小笹寧子	24-4-606
（二句）：介護と家族問題	上田公介	24-4-610
（三句）：最後の場所	本庄 巖	24-4-613

【Books】

日高敏隆 著『僕の生物学講義—人間を知る手がかりの詳細』	24-1-122
佐藤真一 他 2 名 編著『老いところのケア—老年行動科学入門—』	24-1-123
最所久美子 著	24-1-124
『医療と福祉を超えて暮らしを拓く：住民力で地域医療—医師・宮原伸二の奇跡—』	
村上陽一郎 著『人間にとって科学とは何か』	24-1-125
「五重塔のはなし」編集委員会 編著『五重塔のはなし』	24-1-126
佐藤文隆 著『職業としての科学』	24-2-284
榎木英介 著『博士漂流時代—「余った博士」はどうなるか？』	24-2-285
横川善正 著『ホスピスが美術館になる日—ケアの時代とアートの未来—』	24-2-286
西井涼子 編『時間の人類学—情動・自然・社会空間』	24-3-414
後藤 伸 他 2 名 著『熊楠の森—神島』	24-3-415
伊東隆夫 他 4 名 著『カラー版 日本有用樹木誌』	24-3-416
中西 進 著『こころの日本文化史』	24-4-616
外川 淳 著『天災と復興の日本史』	24-4-617
藤田和恵 著『ルポ 患者を守る人びと—医療崩壊の中で』	24-4-618
中村安秀・河森正人 編『グローバル人間学の世界』	24-4-619
稲川 実・山本芳美 著『靴づくりの文化史—日本の靴と職人—』	24-4-620

【Random Scope】

バイオエネルギー生産の植物資源とその地域での鳥類多様性への影響	24-1- 48
サンショウウオ胚に共生する藻類	24-1- 58

親の肥満は子にたたるか？	24-1-75
見えないのに感じる青い光—新しい第3の光受容体の発見	24-1-106
リン(P)の代わりにヒ素(As)を用いたDNAを持つバクテリア	24-2-174
：NASAの大発見それとも勇み足？	
マラリア撲滅の新しい手段としてのカビ遺伝子組換え体の利用	24-2-222
血液脳関門を開くには	24-2-229
動物実験を脅かす過激な動物愛好家	24-2-249
新しい“善玉”コレステロールの増強剤	24-2-253
ビフィズス菌は腸内感染防御機構に役立つか	24-2-283
ミツバチの女王分化を支配するローヤルゼリー成分の発見！	24-3-314
呼吸による頭頸部がんの診断	24-3-385
哺乳類の脳の化石による嗅覚動物の証拠	24-3-396
マラリア蚊を制圧する新規殺虫剤の開発が望まれている	24-3-413
ヒト腸内微生物叢は3種に大別される	24-3-417
五感以外の第6の感覚としての化学受容体のはたらき	24-4-433
安定同位体を測って恐竜の体温を推定する	24-4-458
網膜における光感受性神経細胞の機能的分化	24-4-467
：リズム光同調と瞳孔反射	
心筋梗塞後に心外膜細胞が心筋細胞へ再生する	24-4-549
骨粗鬆症の治療	24-4-583
水素を利用する熱水噴出孔の共生生物	24-4-595

Vol. 25 2012 年

巻・号・頁

【Editorial】

環境と統合医療	今西二郎	25-1-02
南南協力の進展—教育分野を中心に—	村田翼夫	25-2-174
高齢社会における総合医の必要性	小西淳二	25-3-312
—あなたは「かかりつけ医」を持っていますか？		
本誌「環境と健康」の四半世紀と課題	山岸秀夫	25-4-424

【特集】

〈健康力の源—世界ハートの日 2011〉

特集 “健康力の源—世界ハートの日 2011” にあたって	篠山重威	25-1-11
快眠は健康のもと、生活習慣病も防げる	塩見利明	25-1-14
効果抜群、お風呂健康入浴法！	前田眞治	25-1-20
長寿を守り、長寿を活かす—沖縄の長寿食文化の再構築	平良一彦	25-1-28
笑い与健康—笑いの力の不思議	井上 宏	25-1-37

〈南紀の豊かな自然〉

特集 “南紀の豊かな自然” にあたって	久保田 信	25-1-48
南紀地方の昆虫	的場 績	25-1-50
豊富な南紀の海産化石	左向幸雄	25-1-58
田辺湾は“宝の海”	久保田 信	25-1-65
南紀白浜の自然—京都大学瀬戸臨海実験所の歴史から—	小林直正	25-1-69
田辺湾・天神崎の自然とその保全運動	玉井済夫	25-1-76

〈日本人と木の文化〉

特集 “日本人と木の文化” にあたって	伊東隆夫	25-2-182
年輪と木の文化	光谷拓実	25-2-184
正倉院正倉と木の文化	成瀬正和	25-2-194
掘り出された木の文化	上原真人	25-2-205
—古代エジプトと日本列島の木鋏における「他人の空似」—		
平城宮跡第一次大極殿の復原に使われた木	加藤修治	25-2-215

〈低線量被ばくのリスクを科学するー福島原発事故を受けてー〉

特集 “ 低線量被ばくのリスクを科学する ”	高橋千太郎	25-3-321
ー福島原発事故を受けてー ” にあたって		
福島原子力発電所事故と放射線の健康影響	神谷研二	25-3-323
低線量放射線とがんリスク	秋葉澄伯	25-3-331
放射線・放射性物質による健康影響とそのリスク	甲斐倫明	25-3-341

〈深海生物の多様性と謎に挑む〉

特集 “ 深海生物の多様性と謎に挑む ” にあたって	清水 勇	25-4-431
ホタルイカはなぜ光るー微弱光環境への適応ー	道之前允直	25-4-433
珊瑚：深海の生物がつくる宝石	岩崎 望	25-4-447
うなぎ、この不可思議なるもの	塚本勝巳	25-4-455
深海と地底からみた宇宙生命の可能性	長沼 毅	25-4-466
深海生物学の課題	白山義久	25-4-478

【特別企画】

親子で語り合う「いのちの話」	奈倉道隆	25-4-485
----------------	------	----------

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：共に生きる

30 都市の生物多様性	森本幸裕	25-1-79
31 シーボルト標本に見る日本の水辺の原風景	細谷和海	25-2-224
32 地磁気からスペースサイエンスへ	荒木 徹	25-3-353
33 リスク学から見た想定問題	木下富雄	25-4-500

【JCSO プロジェクトシリーズ】

熱帯木材の持続可能な利用と REDD+	山田俊弘・奥田敏統	25-3-366
---------------------	-----------	----------

【連載講座】

メタボの正体 (V)	篠山重威	25-1-87
(VI)	篠山重威	25-2-231
(VII)	篠山重威	25-3-374
(VIII)	篠山重威	25-4-519
漢字の散歩道 (VI) 悠然として南山を見る	小南一郎	25-3-390

【トピックス】

現代における体質論と未来の医療	井村裕夫	25-1-100
ながはま0次予防コホート事業	松田文彦	25-1-106
ー地域に根ざした未来型健康づくりの試みー		
福島原発事故による放射線影響ー低線量被ばくを考えるー	遠藤啓吾	25-2-242
安全安心のためのX線検査システム	藤本真也	25-2-249

【コラム】

超高齢社会のがん医療	長島文夫	25-1-116
ーがん診療における高齢者の機能評価に関する研究ー		
脳の不思議を科学する	本庄 巖	25-3-396
シーボルトコレクション余話	清水 勇	25-3-400
禅語から「脳の不思議」を考える	萬野善昭	25-4-533

【随想】

米国海軍中將の短歌と俳句ー東日本の大震災見舞いに寄せてー	村瀬泰雄	25-1-119
貧しくとも幸せそうな国ーラオス・ルアンパバーンで思ったこと	本庄 巖	25-2-257
木靴のうたーグルテインク家の思い出	秋山麗子	25-2-260
バルト三国を旅して	本庄 巖	25-4-543
仰げば尊し我が師の恩ー生徒の人生を変えた教師の物語	秋山麗子	25-4-546

【オピニオン】

- 連載：医師になるということー若い人たちのためにー …… 萬野裕彦 …… 25-1-126
(Ⅳ、最終回) 将来の日本の医療は？

【サロン談義】

サロン談義9 (連歌形式) 生老病死の医療

- 第二主題 (四句：豊饒の晩秋と厳寒の冬を味わいたい …… 中井吉英 …… 25-1-136
(挙句：いのちに寄り添う介護 …… 奈倉道隆 …… 25-1-141)
- 第三主題 (発句：「患者よ、がんと闘うな」と …… 上田公介 …… 25-1-146
「がんばらないけど、あきらめない」
(二句：いのちの受け渡し …… 本庄 巖 …… 25-1-148
(三句：今ここに生きている …… 中井吉英 …… 25-1-150
(四句：病と上手に向き合うために …… 小笹寧子 …… 25-1-154
(挙句：ナラティブ・ベイスド・ライフ …… 藤枝宏壽 …… 25-1-156)
- 第四主題 (発句：死にともない …… 本庄 巖 …… 25-2-269
(二句：90歳の夢 …… 中井吉英 …… 2-2-271
(三句：超高齢社会に生きるー 2050年の日本 …… 小笹寧子 …… 25-2-278
(四句：一本の道 …… 上田公介 …… 25-2-280
(挙句：患者の視点から見た医療 …… 秋山麗子 …… 25-2-285)

コメント1：死生観としての「真空」 …… 山岸秀夫 …… 25-3-404

サロン談義10 低線量被ばくを考える

- 問題提起：東電原発事故による低線量被ばくのリスクに関する質問 …… 本庄 巖 …… 25-4-561
コメント1：放射線影響について …… 内海博司 …… 25-4-563

【Books 談義】

上野川修一・吉川正明 編著「食と健康のための免疫学入門」をめぐる

- コメント1：食の免疫情報と今後の新しい展開 …… 山岸秀夫 …… 25-2-296
コメント2：食と免疫系とのかかわり …… 栗原紀夫 …… 25-3-407

山室隆夫 著「不老長寿を考えるー超高齢社会の医療とスポーツ」をめぐる

- コメント1：相互扶助の百寿社会を目指して …… 山岸秀夫 …… 25-2-297
コメント2：毎日少しでも歩く努力を …… 上田公介 …… 25-2-299
コメント3：不老と長寿ということ、そしてそのあり方 …… 栗原紀夫 …… 25-3-408
コメント4：長寿を保つ知恵 …… 小川 侃 …… 25-3-410

今西二郎 編著「サプリメントを考える」をめぐる

- コメント1：「有効性より安全性」を、「疾病志向より患者指向」へ …… 山岸秀夫 …… 25-4-571
コメント2：診察室の机の上に置いておきたい一冊 …… 上田公介 …… 25-4-573
コメント3：体質にあった必要なサプリメントを選ぶことが肝心 …… 清水 勇 …… 25-4-574
コメント4：サプリメントとプラセボ効果 …… 中井吉英 …… 25-4-577
コメント5：サプリメント考 …… 岡本浩二 …… 25-4-578

岩槻邦男・仁王以智夫 著「共生する生き物たち」をめぐる

- コメント1：地球生物はすべて関わり合っている …… 山岸秀夫 …… 25-4-581
コメント2：二つの共生 …… 加藤雅啓 …… 25-4-582
コメント3：ヒトはどこまで殖えることを許されるのか？ …… 久馬一剛 …… 25-4-585

【Books】

- 笹原宏之 著『漢字の現在ーリアルな文字生活と日本語』 …… 25-1-160
吉成直樹 著『琉球の成立ー移住と交易の歴史』 …… 25-1-161
佐藤主光、小黒一正 著『震災復興ー地震災害に強い社会・経済の構築』 …… 25-1-161
入江健二 著『万里子さんの旅ーある婦米二世女性の居場所探し』 …… 25-1-163
谷口輝世子 著『子どもがひとりで遊べない国、アメリカ』 …… 25-1-164
ー安全・安心パニック時代のアメリカ子育て事情』
渡 浩一 著『民衆宗教を探る お地蔵さんの世界ー救いの説話・歴史・民俗ー』 …… 25-2-300
杉岡津岐子 著『子ども学(第2版)ーその宇宙を知るために』 …… 25-2-301
宮西照夫 著『ひきこもりと大学生ー和歌山大学ひきこもり回復支援プログラムの実践』 …… 25-2-302
酒井邦嘉 著『脳を創る読書ーなぜ「紙の本」が人にとって必要なのか』 …… 25-2-302

岩槻邦男・堂本暁子 監修『災害と生物多様性－災害から学ぶ、私たちの社会と未来』	25-2-303
小島正美 著『誤解だらけの放射能ニュース』	25-2-304
デイヴィット・ブルックス 著（夏目 大 訳）	25-3-414
『人生の科学－「無意識」があなたの一生を決める』	
小笠原道雄 他2 名 編著『道德教育の可能性－徳は教えられるか－』	25-3-415
福岡伸一 著『動的平衡2－生命は自由になれるのか』	25-3-416
レベッカ・コスタ 著（藤井留美 訳）『文明はなぜ崩壊するのか』	25-4-587
鈴木 孝 著『エンジンのロマン－技術への限らない憧憬と挑戦』	25-4-588
山内一也 著『ウイルスと地球生命』	25-4-589
ウィリアム・H・ダビドウ 著（酒井泰介 訳）	25-4-590
『つながりすぎた世界－インターネットが広げる「思考感染」にどう立ち向かうか』	

【Random Scope】

マグネシウムはヒト細胞性免疫の活性化に必須である	25-1- 27
言語性知能と行動性知能は青年期の脳で変化する	25-1- 47
都市生活でのストレスは心や体の不具合をひきおこす	25-1- 49
食品アレルギーを避ける方法	25-1- 78
マイクロRNA (MiRNA) を利用した健康食品の可能性	25-1-105
年一回の胸部X 線検診は肺癌死亡率を抑制しない	25-1-115
腸管内免疫情報は小腸杯細胞を通過して粘膜固有層の樹状細胞に伝達される	25-2-204
運動はBCL2 遺伝子を活性化し筋肉内グルコースの恒常性を高める	25-2-223
腸管内細菌叢の異常によって脂肪肝や肥満が悪化する	25-2-241
畜牛の体色偏側模様は環状 DNA のシャトル挿入によって生ずる	25-2-305
脳細胞では染色体遺伝子の微小領域から小環状 DNA を生成し欠失変異をモザイク状に生ずる	25-2-305
大腸内視鏡検査受検者の3 分の1 近くが有害事象を経験	25-3-316
前立腺がん－ホルモン療法の現状と課題	25-3-340
ミトコンドリアの DNA が心臓の炎症を引き起こす	25-3-395
嫌な体験を気にしないのが健康長寿の秘訣	25-3-399
心筋梗塞によって生じた瘢痕細胞は遺伝子治療によって心筋に再生する	25-3-406
PSA による前立腺がん検診の一般男性への実施は推奨しない	25-4-430
高齢者では食餌が腸内細菌叢の変動と健康に影響する	25-4-465
偏った栄養摂取が腸内細菌叢の恒常性を乱して腸炎を発症する	25-4-465
2 種のウイルスワクチンの組み換えによって高病原性の新型ウイルスが出現	25-4-477
ヒト内在性転移因子は、がん細胞中で活性化してがん化を促進している	25-4-484
出生時の父親の年齢が高いほど、多くの塩基変異が子どもに伝わる	25-4-499
正常高値の血糖値も海馬や扁桃体の萎縮と関係する	25-4-532
ワタ栽培農場での殺虫性組み換え植物の導入は生物的防除効果を促進する	25-4-593

Vol. 26 2013 年

巻・号・頁

【Editorial】

遺伝学の革新が与えてくれる新しい人生観	山岸秀夫	26-1- 02
留学について思うこと	本庄 巖	26-2-112
倫理と職業	竹下 賢	26-3-262
科学の不正行為	今西二郎	26-4-384

【特集】

〈放射線とマスメディア〉

特集 “放射線とマスメディア” にあたって	福本 学	26-1- 10
低線量放射線の人体影響－発がんか健康効果か－	中村仁信	26-1- 13
放射線について市民は何を知りたいのか、どう伝えればよいのか	木下富雄	26-1- 22
マスコミから見た放射能問題	室山哲也	26-1- 31

分かっていないことをどう伝えるか？	中村 典	26-1-38
〈体内時計と健康〉		
特集“体内時計と健康”にあたって	小西淳二	26-2-120
からだの時計は今何時？—地球と時計遺伝子の物語—	岡村 均	26-2-122
時間栄養学から肥満予防を考える	平尾彰子	26-2-131
睡眠と体内時計—現代型睡眠障害を克服するために—	大川匡子	26-2-141
時間薬理学について—薬はいつ飲むか—	大戸茂弘	26-2-149
〈高齢期のいのちの輝き〉		
特集“高齢期のいのちの輝き”にあたって	奈倉道隆、中井吉英	26-3-269
物語りとしての老い	中井吉英	26-3-272
老を「平気」で生きよう	奈良康明	26-3-285
老いの日々を生き抜くためにできること	内藤いづみ	26-3-295
〈国際化に対応する学校教育の実践的課題〉		
特集“国際化に対応する学校教育の実践的課題”にあたって	村田翼夫	26-4-392
小学校における外国人児童教育の取り組みと課題	古山友和	26-4-395
高校での国際教育の取り組み—ユネスコ活動、模擬国連などを通して—	岡 憲司	26-4-404
わが国における特別支援教育の国際的対応	中田英雄	26-4-415
国際理解教育の課題—共に生きる子どもを育てる—	佐藤郡衛	26-4-426

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：共に生きる

34 環境中のホルムアルデヒドを吸収	泉井 桂	26-1-43
・同化する遺伝子組換え植物の開発		
35 「東アジア低炭素共同体」構想と原子力安全保障システムの構築	周 瑋生	26-2-161
36 ムギ類の利己的な染色体	遠藤 隆	26-2-174
37 日本測地系の変遷と地殻変動	竹本修三	26-3-299
38 日本は訴訟社会となりうるか	木下麻奈子	26-4-435
—日米比較を基にした日本の法の仕組みと働き—		

【JCSD プロジェクトシリーズ】

森林浴の健康増進効果	李 卿	26-3-310
------------	-----	----------

【連載講座】

メタボの正体 (IX)	篠山重威	26-1-53
(X)	篠山重威	26-2-183
(XI)	篠山重威	26-3-321
(XII、終章)	篠山重威	26-4-447
感染症あれこれ (VI) 天然痘予防接種：種痘物語	今西二郎	26-1-64
感染症あれこれ (VII) 香りによる感染症の予防・治療	今西二郎	26-2-195
統合医療：一人ひとりに合った医療を目指して (I)	今西二郎	26-3-333
(II)	今西二郎	26-4-460

【コラム】

漫画冊子「ママと呼んでほしいから」の製作にかかわって	本庄 巖	26-1-68
辞世論：言葉の魂と人間の魂—魂の死と再生—	小川 侃	26-2-200

【随想】

ノルウェー紀行—森と湖の国の健康志向—	竹下 賢	26-1-71
米国一般外来緊急治療室体験記	秋山麗子	26-1-76
米国からの石巻被災者支援センターでの体験	藤村咸治 ロバート	26-2-204
シルクロードの光と影	本庄 巖	26-2-209
パプア・ニューギニア紀行—昔の戦場は生物多様性の宝庫へ—	竹下 賢	26-2-214
スペイン歴史紀行—文化の融合、クレオール—	竹下 賢	26-3-338
タジキスタンの旅—ソグディアナ地方を訪ねて—	本庄 巖	26-3-348
シルクロードの風景	本庄 巖	26-4-467

【サロン談義】

サロン談義 10 低線量被ばくを考える

コメント 2: 食品の安全性など	内海博司	26-1-84
コメント 3: 過去の核爆発実験など	内海博司	26-2-220
コメント 4: 原発事故に何故過度な反応をするのか	内海博司	26-3-354

サロン談義 11 高齢者の持病を考える

問題提起 1: 私の不整脈自己管理小史	瀬野悍二	26-2-229
コメント 1: 主治医との信頼関係での不整脈の管理	本庄 巖	26-3-361
問題提起 2: 無胃な人のつぶやき	富浦 梓	26-2-231
コメント 2: 術後の後遺症に対処する医療	本庄 巖	26-3-362

【Books 談義】

岩槻邦男・仁王以智夫 著「共生する生き物たち」をめぐって

コメント 4: 人類さん、待ったなしですよ	瀬野悍二	26-1-90
コメント 5: 共生に対する視点の転回	宇高恵子	26-1-92

河田照雄 編著「脂肪の功罪と健康」をめぐって

コメント 1: 脂肪食に求められる節度のある食習慣と食育	山岸秀夫	26-1-93
コメント 2: 脂質と健康についての若干の代謝論的考究	清水 勇	26-2-240
コメント 3: 「生きている脂肪」を描出	岡本浩二	26-2-242
コメント 4: “脂肪”は“死亡”につながらない	今西二郎	26-2-245
コメント 5: 多彩な角度から見た脂肪の功罪	乾 明夫	26-2-247
コメント 6: 健康寿命の延伸を願いつつ	佐藤隆一郎	26-3-364

鈴木晶子 著「智恵なすわざの再生へー科学の原罪」をめぐって

コメント 1: 知の客観的普遍性と主観的普遍性	山岸秀夫	26-2-248
コメント 2: アポロの叡智のみで技術は再生できない	富浦 梓	26-3-366
コメント 3: 現場から出発する科学の構築へ	坂東昌子	26-3-368
コメント 4: 知と科学と一ヒトが求めているもの	岩槻邦男	26-3-373
コメント 5: 国民の知恵が必要	松久 寛	26-4-472
コメント 6: 科学とその応用技術ー科学に原罪はあるか?	池原健二	26-4-473
コメント 7: 量子力学の衝撃	佐藤文隆	26-4-475
コメント 8: 「ポスト・フクシマ時代」の責任の所在	鈴木晶子	26-4-478

【Books】

秋田 巖・金山由美 編『死を育てる』	26-1-95
小泉義之 著『生と病の哲学ー生存のポリティカルエコノミー』	26-1-95
金馬宗昭 著	26-1-96
『不登校、ひきこもり こころの解説書ー僕がひきこもりだった時に言えなかったこと』	
野間俊一 著『身体の時間ー（今）を生きるための精神病理学』	26-1-97
門田隆将 著『死の淵を見た男 吉田昌郎と福島第一原発の五〇〇日』	26-1-98
美馬達哉 著『リスク化される身体ー現代医学と統治のテクノロジー』	26-2-250
中山 理、K. ライアン 他 4 名 編著	26-2-251
『グローバル時代の幸福と社会的責任ー日本のモラル、アメリカのモラル』	
滝川一廣 著『子どものそだちとその臨床』	26-2-252
大谷栄一、藤本頼生 編著『地域社会をつくる宗教』	26-2-253
スティーヴン・グリーンブラット 著（河野純治 訳）	26-2-254
『一四一七年、その一冊がすべてを変えた』	
岩槻邦男 著『桜がなくなる日ー生物の絶滅と多様性を考える』	26-3-376
岩槻邦男 著『新・植物とつきあう本』	26-3-377
樋口和憲 著『笑いの日本文化ー「烏お澁この者」はどこへ消えたのか?』	26-4-489
大友芳恵 著『低所得高齢者の生活と尊厳軽視の実態ー死にゆきかたを選べない人びと』	26-4-489
橋本俊詔 著『「幸せ」の経済学』	26-4-490
宇野賀津子 著『低線量放射線を越えてー福島・日本再生への提言』	26-4-491
村田翼夫、上田 学 編著『現代日本の教育課題ー 21 世紀の方向性を探るー』	26-4-492
J・リー、N・マッコミック 著（西原英晃 監訳）	26-4-493
『原子力発電システムのリスク評価と安全解析』	

ブライアン・フェイガン 著（東郷えりか 訳）『海を渡った人類の遙かな歴史』	26-4-494
木村正俊 著『ケルト人の歴史と文化』	26-4-495

【Random Scope】

血液検査で複数の早期がんを簡便に検出—新しいプレがん検診に期待	26-1-37
ヒト単一細胞での遺伝子変異の検出が可能になった	26-1-67
ヒト精子単一細胞の DNA ゲノム解析が染色体の組換え能と異数性との関連を示した	26-1-67
内耳有毛細胞の感覚系の特殊な構造が遺伝性難聴に関係する	26-1-70
がんを知り、がんを制す	26-1-83
腸管出血性大腸菌が腸内に定着する化学感知系	26-1-94
心房細動に“切らない”手術	26-2-130
既存の心筋細胞が分裂して心臓の恒常性維持に働く	26-2-140
腸管の炎症は窒素酸化物を産生して大腸菌を増殖させる	26-2-160
炭水化物合成シグナルが植物の開花に関わっている	26-2-173
甘味、苦味、旨味を知覚するⅡ型味覚細胞では、イオンチャンネルに依存して ATP を神経伝達物質として放出する	26-2-199
高齢者の聴力低下は認知機能低下の危険因子	26-2-208
老年期の脳細胞の新生には大きな個体差がある	26-3-271
神経ペプチドで刺激される神経巡回回路でかゆみが誘発される	26-3-284
腸内細菌群が 2 型糖尿病の環境リスク因子として働く	26-3-332
細菌や真菌などの微生物はヒトの皮膚に部位特異的に共存している	26-3-337
大型鳥類の減少は餌となる果実の種子を小型にする	26-3-347
腸管常在菌の抗原情報を認識するリンパ球細胞が小腸上皮に存在する	26-3-353
殺虫剤に混入されたブドウ糖を忌避するゴキブリの出現	26-3-375
野球の投手の様な高速投てき能力は約 200 万年前のホモ属原人に見られる	26-4-394
ヒト腸内細菌のクロストリジウム混合株は調節性 T 細胞を誘導して、腸炎を抑制する	26-4-446
ヒトのがんにおける遺伝子変異は多様である	26-4-459
腸管粘膜固有層には末梢リンパ器官が存在する	26-4-466
炭疽菌の 2 種の毒素の標的は異なり、それぞれ心筋細胞と肝細胞である	26-4-466
高齢者の認知能力を高める多重課題のビデオゲーム	26-4-471
細菌感染による痛みは感覚神経への直接刺激により生じる	26-4-471

Vol. 27 2014 年

巻・号・頁

【Editorial】

少子高齢社会の生き甲斐	山岸秀夫	27-1-02
台湾で考える科学者と思想	竹下 賢	27-2-124
高齢社会と総合診療専門医	小西淳二	27-3-270
少子高齢社会と子育て	内海博司	27-4-394

【特集】

〈ミツバチ研究の最前線—社会性昆虫の不思議を探る〉

特集“ミツバチ研究の最前線—社会性昆虫の不思議を探る”にあたって	清水 勇	27-1-10
日本におけるミツバチの減少原因について	高橋純一	27-1-12
—本当にミツバチたちは消えたのか—		
ニホンミツバチの不思議な生態	坂本文夫	27-1-23
ミツバチの尻振りダンスの謎はどこまで解けたか	久保健雄	27-1-35
ミツバチとヒトの社会を比較する—脳の発達と情報システムを中心に—	佐々木正己	27-1-48

〈予見と思い誤り—人間の経験のあり方〉

特集 1 “予見と思い誤り—人間の経験のあり方”にあたって	小川 侃	27-2-132
予測と当て外れ—食文化一般から、マルクス・ヘルニヒ（陶久明日香 編訳）		27-2-134
また特に「豆腐」という現象から考察した場合		

化学実験の当て外れと新発見	田村 類	27-2-142
医学の祖ヒッポクラテスと患者の予後の洞察	木原志乃	27-2-150
都市計画と当て外れ	マイケル・ラザリン (森脇正史 翻訳)	27-2-161
ー京都が焼けている、ベネチアが沈みかけている		
〈福島原発事故後の状況とその対応〉		
特集2 “福島原発事故後の状況とその対応” にあたって	中村清一	27-2-173
東電福島第一原発事故後の状況と対応について	山下俊一	27-2-175
福島事故後の世論の動向	木村 浩	27-2-187
福島原発事故後の放射線に関するリスクコミュニケーション活動	菖蒲順子	27-2-196
〈福島原発事故で工学倫理を考える〉		
特集 “福島原発事故で工学倫理を考える” にあたって	竹下 賢	27-3-277
倫理の出番	松木純也	27-3-278
3.11 と知識の継承	斉藤了文	27-3-291
将来に生かす事故の教訓	西原英晃	27-3-304
〈苦しみと死をのりこえて〉		
特集 “苦しみと死をのりこえて” にあたって	奈倉道隆	27-4-402
受苦するということー V. E. フランクルに学ぶー	岡本哲雄	27-4-403
死にゆく人に生かされて	細井 順	27-4-416
悲しんでいる者たちの “幸い”	ルスターホルツ, A.	27-4-427
人生は苦であると説く釈尊	奈倉道隆	27-4-435

【特別企画】

笑いの雰囲気と母親の役割	小川 侃	27-1- 57
知っていますか、放射線	秋津 裕、内海博司	27-4-443

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：共に生きる

39 魚の左右性とその動態	堀 道雄	27-1- 67
40 ホウ素中性子捕捉療法	小野公二	27-2-203
41 大気中微粒子の追跡	向井苑生	27-3-310
42 スイスと児童の人権	ルスターホルツ, A.	27-4-459

【JCSO プロジェクトシリーズ】

ダム撤去から流域再生へー熊本県球磨川を訪ねて	大野智彦	27-3-319
------------------------	------	----------

【連載講座】

統合医療：一人ひとりに合った医療を目指して (Ⅲ)	今西二郎	27-1- 80
(Ⅳ)	今西二郎	27-2-218
(Ⅴ)	今西二郎	27-3-328
(Ⅵ)	今西二郎	27-4-468
漢字の散歩道 (Ⅶ) 殷代の疾病	小南一郎	27-2-227
和の風土と食 (Ⅰ) おいしさ感性でいただく	若井郁次郎	27-2-231
(Ⅱ) 楽しい野菜・かぼちゃ	若井郁次郎	27-3-337
(Ⅲ) ピロシキとロシアで広まる和食	若井郁次郎	27-4-476
生命科学ことはじめ (Ⅰ)：いのちのつながり	丸山圭藏	27-4-482

【トピックス】

福島原発事故はなぜ起こったか	安部誠治	27-4-491
----------------	------	----------

【コラム】

補聴器を使いこなす	本庄 巖	27-1- 90
加齢による音感の変化	瀬野悍二	27-2-236
メレンコリアと現代医学	寺島東洋三	27-3-344
視覚と聴覚そして脳ー K さんを手掛かりに	本庄 巖	27-4-501

【随想】

大旱魃のカリフォルニアで	秋山麗子	27-2-240
--------------	------	----------

【オピニオン】

放射線がんリスクの線量率依存性を如何に勘案するか	巽 紘一、田ノ岡宏	27-1-94
--------------------------	-----------	---------

【サロン談義】

サロン談義 12 現在の教育問題を考える

問題提起：社会環境の変容と子どもの教育	上田 学	27-1-99
コメント1：「ゆとり教育」再考	岩槻知也	27-1-105
コメント2：集団指導と個性重視の必要性	村田翼夫	27-2-247
コメント3：教員の仕事とそれを可能にする能力の育成	上田 学	27-2-250
コメント4：キャリア教育の課題と展望	山口 満	27-2-254
コメント5：道徳教育への期待	堤 正史	27-3-353
コメント6：情報教育の課題	久保田賢一	27-3-356
コメント7：教科体育の役割を考える	森 博文	27-3-360
コメント8：理科教育についてー生物学を生命科学へ	内海博司	27-3-364
コメント9：図画工作科の現状と問題	山野てるひ	27-4-504
ー言葉による活動の重視についてー		
まとめ1：教育制度改革に求められるもの	上田 学	27-4-507
まとめ2：生涯学習分野における課題	岩槻知也	27-4-511
まとめ3：国際人の育成を考える	村田翼夫	27-4-514
まとめ4：学習指導要領の改訂に関する一考察	山口 満	27-4-518

【Books 談義】

大東 肇 編著「食べものとくすりー食の薬効を探るー」をめぐって

コメント1（内容紹介を兼ねて）：	山岸秀夫	27-2-258
多様化する栄養摂取の手段として食の薬理的効能を考える		
コメント2：人間よ自然との共生を考えよ	上田公介	27-3-369
コメント3：食品の機能性を求めて	岡本浩二	27-3-371
コメント4：野生霊長類の薬用植物利用から生物多様性に	山室隆夫	27-3-374
基づく食物連鎖を考える		
コメント5：「酒は百薬の長」を再考する	杉並孝二	27-3-376
コメント6：天然物中の薬用成分の伝達と共通性を考える	花井俊彦	27-3-380
コメント7：放射線科医師からの感想	大野和子	27-4-522

【Books】

津守 眞 著『保育の現在ー学びの友と語るー』	27-1-107
アズビヨン・ヴォール 著（渡辺雅男 訳）『福祉国家の興亡』	27-1-107
ピーター・バーンスタイン 著（青山 護 訳）『リスクー神々への反逆 上・下』	27-1-108
村田翼夫、佐藤真理子 編著『南南教育協力の現状と可能性ーASEAN 新興ドナーを中心にー』	27-1-110
加瀬介朗 著『貧困のない幸せな社会へ』	27-2-260
橋本俊詔、広井良典 著『脱「成長」戦略ー新しい福祉国家へ』	27-2-260
内山 節 著『新・幸福論ー「近現代」の次に来るもの』	27-2-261
ウルリッヒ・ベック 著（山本 啓 訳）『世界リスク社会』	27-2-262
エベン・アレグザンダー 著（白川貴子 訳）	27-2-262
『プルーフ・オブ・ヘヴン、脳神経外科医が見た死後の世界』	
長田攻一、田所承己 編著	27-3-384
『つながる/ つながらないの社会学ー個人化する時代のコミュニティのかたち』	
品川正治 著『激突の時代ー「人間の眼」vs.「国家の眼」』	27-3-385
大村幸弘 著『トロイアの真実』；松田 治 著『トロイア戦争全史』	27-3-386
倉沢愛子 著『9・30 世界を震撼させた日ーインドネシア政変の真相と波紋』	27-3-387
国立遺伝学研究所 編『遺伝子が語る生命 38 億年の謎ーなぜ、ゾウはネズミより長生きか？』	27-4-524
安藤啓明 著『歴史のなかのミュージアムー驚異の部屋から大学博物館まで』	27-4-525
佐藤眞一、高山 緑、増本康平 著『老いのこころー加齢と成熟の発達心理学』	27-4-526

大島伸一 著『超高齢社会の医療のかたち、国のかたち』	27-4-527
上原善広 著『石野虚塔—発見と捏造、考古学に憑かれた男たち』	27-4-527
石井光太 著『浮浪児 1945 —戦争が生んだ子供たち』	27-4-528
ノーム・チョムスキー、ラリー・ポーク 著（吉田 裕 訳）	27-4-529
『複雑化する世界、単純化する欲望—核戦争と破滅に向かう環境世界』	

【Random Scope】

文学作品を読むことは他人を思いやる心を向上させる	27-1- 04
好熱菌の多様なセルロース分解酵素機能を利用してバイオマスを液体燃料に変える	27-1- 22
米国における農地開拓以前の大草原の土壤微生物を探る	27-1- 34
ヒト神経細胞は遺伝子のコピー数変異に関してはモザイクである	27-1- 47
抗がん剤のシクロホスファミドは腸管免疫の活性を高める	27-1- 89
結婚生活には無意識の内的な気持ちが強く影響する	27-1- 93
がん遺伝子が染色体外で増幅する悪性脳腫瘍では抗がん剤の断続的使用が有効である	27-1- 98
食性の変化は摂取後数日以内に腸内細菌叢を急速に変化させる	27-2-141
アフリカより出自した新人ゲノムの数%は旧人ネアンデルタールに由来する	27-2-172
体細胞の iPS 細胞化によって野生類人猿のレトロ転移因子の活性化が示された	27-2-172
胚発生などで機能する長い非翻訳 RNA	27-2-195
ヒトは一兆種以上の嗅覚刺激を識別している	27-2-226
幼若期における過剰な感覚運動刺激は脳の血管形成を阻害する	27-2-226
ベータカテニンが毛嚢幹細胞中で活性化されて毛が伸長する	27-2-259
海水温の上昇に備える造礁サンゴ	27-3-303
接ぎ木は体細胞間ゲノム移動をひき起こし、新種の倍数体を形成する	27-3-309
地球温暖化による植物の生育期の延長には炭酸ガス濃度の上昇が寄与している	27-3-318
自然免疫ネットワークの生理活性物質を用いる新しい結核治療法	27-3-336
幼児期での教育投資は成人後の健康に貢献する	27-3-343
I 型糖尿病患者の体細胞核を卵細胞に移植して、多能性幹細胞株が樹立された	27-3-352
重度知的障害者のほぼ半数で、知的障害（ID）遺伝子に多数の変異が同定された	27-3-368
運動学習後の睡眠は脳の神経細胞の樹状突起の新生と保持に必須である	27-3-383
統合失調症のリスクは脳神経系以外に免疫系などの遺伝子にも起因する	27-4-396
ヒトの皮膚に常在する微生物叢は個人や身体部位により異なる	27-4-401
不均質な腫瘍細胞集団間の干渉を利用する抗がん治療への手がかり	27-4-415
体細胞の塩基置換頻度はその発生系譜を反映している	27-4-434
真菌と緑藻との新たな共生を持続させる実験生態学的試み	27-4-442
スタチンは異常な軟骨形成の正常化に役立つ	27-4-481
多様な微生物生態系が南極の氷床下に存在する	27-4-490
高地に定住するチベット族の低酸素濃度適応遺伝子は、旧人、デニソワ人からの遺伝子移入である	27-4-500

Vol. 28 2015 年

巻・号・頁

【Editorial】

人間みな兄弟姉妹	山岸秀夫	28-1- 02
医療の立場から死を考える	本庄 巖	28-2-120
多元的教育システムの必要性	村田翼夫	28-3-232
水と空気からみた環境の問題	今西二郎	28-4-346

【特集】

〈糖質制限食と糖尿病・生活習慣病〉

特集“糖質制限食と糖尿病・生活習慣病”にあたって	小野公二	28-1- 10
糖質制限食の有効性と可能性	江部康二	28-1- 11
—糖尿病・動脈硬化・癌・肥満と糖質制限食—		

糖質摂取を制限した食事の実際	橋本眞由美	28-1-20
糖質摂取制限の有効性・安全性を疫学的手法により検証する	中村保幸	28-1-25
〈生活の中の放射線—放射線照射利用〉		
特集“生活の中の放射線—放射線照射利用”にあたって	中村清一	28-2-127
放射線「作用」の本質的な特徴は何か	小林泰彦	28-2-129
医療における放射線の活用	奥山智緒	28-2-140
放射線利用による害虫の根絶事業	宮竹貴久	28-2-151
電子線照射を活用した漆器の改質	廣垣和正	28-2-159
〈健やかな老い—統合医療と介護福祉—〉		
特集“健やかな老い—統合医療と介護福祉—”にあたって	奈倉道隆	28-3-241
生きがいのある生活を、統合医療で	今西二郎	28-3-246
環境を調べ、生きる意欲を高める介護福祉	奈倉道隆	28-3-255
〈生き生きシニアライフを目指して—シニア世代の食育—〉		
特集“生き生きシニアライフを目指して—シニア世代の食育—”	大谷貴美子	28-4-355
にあたって		
シニア世代の生活の質と食	大谷貴美子	28-4-358
ヘルシーエイジングを目指して—若さを保つための食生活	南山幸子	28-4-366
台所は生きる力をひきだし人を元気にする	松村正希	28-4-373

【特別企画】

日本古美術界のスーパースター・伊藤若冲により親しむために	門脇むつみ	28-1-30
触る感動、動く触感	広瀬浩二郎	28-4-386

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：少子高齢社会を生きる

43 食育のめざすところ	大谷貴美子	28-1-35
44 わが国の少子化問題と日本産婦人科学会の使命	小西郁生	28-2-167
45 糖質を制限すれば糖尿病はよくなる！	江部康二	28-3-268
46 赤ちゃん学から見た重症心身障害児—ヒトの心の起源を探る—	小西行郎	28-4-407

【連載講座】

統合医療：一人ひとりに合った医療を目指して (Ⅶ)	今西二郎	28-1-43
(Ⅷ)	今西二郎	28-2-175
(Ⅸ)	今西二郎	28-3-283
(Ⅹ)	今西二郎	28-4-415
和の風土と食 (Ⅳ)：和食と健やかさの元・大豆	若井郁次郎	28-1-51
(Ⅴ)：さわやかで白い主菜・豆腐	若井郁次郎	28-2-185
(Ⅵ)：ふるさとを思う風味・味噌	若井郁次郎	28-3-292
(Ⅶ)：和食を磨き上げる醤油	若井郁次郎	28-4-424
生命科学ことはじめ (Ⅱ)：いのちのはじまり	丸山圭蔵	28-1-56
(Ⅲ)：いのちのありがた	丸山圭蔵	28-2-190

【トピックス】

虫歯予防の原点 水道水フッロリレーション	田浦勝彦	28-1-67
地域での看取りの課題 高齢統合失調症3事例の追跡調査から	真柄希里穂	28-1-81
日本の伝統的食材で使用されるキノコの香気特性	宮澤三雄	28-3-299
舞踊が健康に資する三つのメカニズム	貫 成人	28-4-432

【コラム】

身体・健康、こころの健康、社会の健康	小川 侃	28-1-91
ヒポクラテスの「風」	小川 侃	28-3-307
貝原益軒の「風」と予防医学	小川 侃	28-3-313
京都の食べ物私考	本庄 巖	28-4-437

【随想】

中国に鑑真和上の足跡を尋ねた旅	本庄 巖	28-1-102
連歌と鼎談－菅原努先生の洞察	小川 侃	28-2-200
文明の十字路－シリア・ヨルダンの旅	本庄 巖	28-2-203
北京での人工内耳学会	本庄 巖	28-3-317
ロサンゼルスでの安倍総理大臣との昼餐会に出席して	秋山麗子	28-3-319
日本語講義のとりもつ日中友好学術交流	瀬野悍二	28-4-439

【サロン談義】

サロン談義 12 再訪 学校現場から見た教育問題	山口 満、村田翼夫	28-2-209
サロン談義 13 日本の終末期医療を考える		
問題提起：日本の終末期医療に思う	本庄 巖	28-4-445
コメント1：磯より潮の満つるが如し	鈴木晶子	28-4-448
－死を自分に取り戻すためにできること		
コメント2：終末期の在宅医療を考える	上田公介	28-4-452
コメント3：終末期医療は完成期の医療です	人見滋樹	28-4-454

【Books 談義】

Books 談義 19 人と食と自然シリーズ5：中井吉英・本庄 巖 編著		
「食と心－その関係性を解き明かす－」をめぐる		
コメント1（内容紹介を兼ねて）：自然の恵みに感謝する心	山岸秀夫	28-4-459
コメント2：食糧余りて悩む	花井俊彦	28-4-461
コメント3：人の心を育む食	家森幸男	28-4-463
コメント4：精神的ダメージと腸内免疫	上田公介	28-4-465
コメント5：食嗜好はどのように形成され、改善しうるのか？	染井順一郎	28-4-466
コメント6：食と心の相互支配	瀬野悍二	28-4-468

【Books】

蒲谷 茂 著『自宅に死にたい』	28-1-105
池上 彰 著『池上彰の「日本の教育」がよくわかる本』	28-1-105
梅原 猛 著『親鸞「四つの謎」を解く』	28-1-106
矢野 久美子 著『ハンナ・アーレント』	28-1-107
ギルバート・ウエルチ, H. 他2名 著（北澤京子 訳）	28-1-108
『過剰診断－健康診断があなたを病気にする』	
今西錦司 著『岐路に立つ自然と人類－「今西自然学」と山あるき』	28-2-217
南川雅男 著『日本人の食性－食性分析による日本人像の探究』	28-2-218
トマス・ズデンドルフ 著（寺町朋子 訳）『現実を語るサル空想を語るヒト』	28-2-219
蒲生 猛 著『第4 次情報革命と新しいネット社会』	28-2-221
リチャード・ドーキンス 著（吉成真由美 編・訳）『進化とは何か－ドーキンス博士の特別講義』	28-2-222
フィリップ・リンベリー、イザベル・オークショット 著（野中香方子 訳）	28-2-222
『ファーマゲドン－安い肉の本当のコスト』	
鯨岡 峻 著	28-3-327
『保育の場で子どもの心をどのように育むのか－「接面」での心の動きをエピソードに綴る－』	
高木 修、竹村和久 編『無縁社会のゆくえ－人々の絆はなぜなくなるの？』	28-3-327
小林俊三 著『ものいう患者－参加する医療を求めて』	28-3-328
青山弘之 編『「アラブの心臓」に何が起きているのか－現代中東の実像』	28-3-329
池内 了 著『核を乗りこえる』	28-3-330
高野秀行 著『恋するソマリア』	28-3-331
多田麻美 著『老北京の胡同』	28-3-331
斎藤 貴男 著『子宮頸がんワクチン事件』	28-3-332
アントニオ・タブッキ 著（和田忠彦 訳）『イザベルに・ある曼荼羅』	28-3-333
スヴァンテ・ペーボ 著（野中香方子 訳）『ネアンデルタール人は私たちと交配した』	28-3-334
梅原 猛 著『〔新版〕森の思想が人類を救う』	28-4-472
宮脇 昭 著『見えないものを見るカー「潜在自然植生」の思想と実践』	28-4-473
坂井克之 著『科学の現場－研究者はそこで何をしているのか』	28-4-474

小林道憲 著『芸術学事始め—宇宙を招くもの』	28-4-475
筒井清忠 編『昭和史講義—最新研究で見る戦争への道』	28-4-475
ジェイムス・バラット 著（水谷 淳 訳）人工知能・人類最悪にして最後の発明』	28-4-476
結城康博著『在宅介護—「自分で選ぶ」視点から』	28-4-477
アンドレアス・ワグナー 著（垂水雄二 訳・解説）『進化の謎を数学で解く』	28-4-478

【Random Scope】

世界全体の食生活が地球環境の持続性と人々の健康に関わっている	28-1-05
食餌による腸内細菌叢の変化が自己炎症性疾患に影響する	28-1-19
特定の腸内細菌群は抗生物質投与に由来する下痢の回復に役立つ	28-1-29
植物の開花を促す低温処理は遺伝子を修飾するが次世代に遺伝しない	28-1-34
哺乳類染色体の細胞特異的な核内区分は複製のタイミングと対応している	28-1-50
古細菌は真正細菌の遺伝子を取り込んで進化した。	28-1-66
自閉症のリスクも遺伝子に起因する	28-1-90
腸内に共生するウィルスは腸内細菌の有益な機能を補完する	28-1-101
ガラパゴス諸島のフィンチのくちばしの多様化がゲノム解析で裏付けられた	28-2-128
単分子 DNA 塩基配列解読によるヒトゲノムの複雑性の解明	28-2-150
肥満と関連する遺伝的要因の解明	28-2-166
食品添加物の界面活性剤は腸管細菌叢に影響して腸の炎症や肥満をひきおこす	28-2-166
免疫系の多様性産生酵素の構造解析は転移因子の保存的な進化を示唆している	28-2-124
マラリアに感染した鳥の老化が血液細胞の染色体末端短縮と関連している	28-2-224
ハマダラ蚊のマラリア媒介能に関連した性的特性の進化	28-2-224
若年性心筋梗塞のリスクを高める二つの遺伝子変異	28-2-224
生殖細胞の成熟を阻害する転移因子の働きを抑制する piRNA とその由来	28-3-240
ヒトの着床前胚でも内在性レトロウィルスが再活性化している	28-3-240
単純性急性虫垂炎の抗菌薬療法の手術に対する非劣勢は証明されず	28-3-245
細菌の獲得性免疫系を利用した、ヒト遺伝子の新しい機能解析法	28-3-267
異物 DNA を特異的に認識する細菌の免疫系タンパク/RNA 複合体の結晶構造解析	28-3-282
大規模な染色体変異を伴う微小核と小環状 DNA の生成	28-3-291
心房細動患者のジゴキシン使用は死亡リスクを高める	28-3-318
居住地の標高により SIDS 発生に 2 倍以上の差	28-3-318
$\gamma\delta$ 型 T 細胞は炎症性サイトカイン (IL-17) を産生して、	28-3-335
好中球と協力して乳がんの転移を促進する	
DNA の複製・修復で生じる DNA 断片を連結させる万能の DNA リガーゼ 3	28-3-339
中高年者の Ca 多量摂取に骨折の予防効果なし	28-4-357
カロチノイド高摂取で重度の加齢黄斑性リスクが軽減	28-4-365
心筋梗塞後の多様なリンパ管の新生が心機能の回復を補完する	28-4-372
性的差別の無い狩猟・採取民は非血縁社会を形成している	28-4-385
ハシカワクチンには免疫系の抑制効果がある	28-4-406
初期現生人類の DNA に数世代前のネアンデルタール人ゲノムが含まれていた	28-4-414
エボラ出血熱に対する有効なワクチンの開発	28-4-423
熱帯の新しい高山地帯の生物相には前適応していた固有種が多い	28-4-431
白内障の予防と治療に有効なステロイド：ラノステロール	28-4-431
機能的リンパ管が中枢神経系に分布する	28-4-431
シアン酸塩を代謝する微生物共同体が広範囲に地球環境に存在する	28-4-480
リンパ濾胞の T 細胞が B 細胞を増殖させて抗原親和性を高める	28-4-480

Vol. 29 2016 年

巻・号・頁

【Editorial】

新しい世代の電子雑誌を目指して	山岸秀夫	29-1-03
医療の 2025 年問題—入院から在宅へのパラダイムシフト—	小西淳二	29-2-89
環境を考える	小野公二	29-3-175

科学の証明力と責任	竹下 賢	29-4-288
-----------	------	----------

【特集】

〈認知症を知る－早期診断とケアを巡って－〉

特集“認知症を知る－早期診断とケアを巡って－”にあたって	小西淳二	29-1-07
認知症の早期診断と治療の展開	秋口一郎	29-1-08
認知症の分子イメージング－病態解明と創薬への応用－	畑澤 順	29-1-18
認知症の行動症状にどう対応するか？	中平みわ	29-1-24
一薬に頼らないケアの方法を求めて－		

〈放射線照射技術の活用〉

特集“放射線照射技術の活用”にあたって	中村清一	29-2-93
輸血用血液製剤への放射線照射について	河村朋子	29-2-95
無菌製剤の電子線滅菌について	山瀬 豊	29-2-102
放射線グラフト重合による身近な繊維の機能化	奥林里子	29-2-109

〈健康のための呼吸－息と雰囲気－〉

特集“健康のための呼吸－息と雰囲気－”にあたって	小川 侃	29-3-178
息と雰囲気	小川 侃	29-3-179
ストレス社会でよりよく生きていくための呼吸	中村 望	29-3-185
－脳科学と生理学から読み解く－		
吟詠とは何か	廣 青隴	29-3-194
生命の源としての息	赤尾光春	29-3-205
－ユダヤ教における呼吸（ネシマ）と靈魂（ネシャマ）		

〈京都の伝統とそのスピリット〉

特集“京都の伝統とそのスピリット”にあたって	中井吉英	29-4-291
京都の伝統とそのスピリットへの一考察	佐々木正子	29-4-292
－京画壇の奇才、伊藤若冲を中心として		
能の未来とその可能性	石井保彦	29-4-304
祇園祭、山・鉾を飾る懸装品－渡来染織品を中心として－	吉田孝次郎	29-4-310

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：少子高齢社会を生きる

47 保健医療－世界の動向・日本の動向	中原俊隆	29-3-215
48 シニア世代の生活習慣病とその予防方法	上島弘嗣	29-4-315

【連載講座】

統合医療：一人ひとりに合った医療を目指して（XI、終章）	今西二郎	29-1-28
和の風土と食（Ⅷ）：形や大きさのいろいろな野菜・ダイコン（大根）	若井郁次郎	29-1-38
（Ⅸ）：氷河期の生き残りの野菜・ジュンサイ	若井郁次郎	29-2-115
（Ⅹ）：濃紫さわやかな野菜・ナス（茄子）	若井郁次郎	29-3-220
（Ⅺ）：シャキシャキ食感の水菜と壬生菜	若井郁次郎	29-4-323
みみ・はな・のど（Ⅰ）聴く	本庄 巖	29-2-119
（Ⅱ）嗅ぐ・味わう	本庄 巖	29-3-225
（Ⅲ）しゃべる	本庄 巖	29-4-327
感動的な樹木を観て楽しむ「感動樹木ウォッチング」		
（Ⅰ）：感動的な樹木のタイプについて	中村 靖	29-2-126
（Ⅱ）：巨樹・巨木ウォッチング	中村 靖	29-3-231
（Ⅲ）：華麗樹木ウォッチング	中村 靖	29-4-333
健康法のうそ？ほんとう？（Ⅰ）：ビタミンC	今西二郎	29-3-236
（Ⅱ）：水溶性ビタミン－ビタミンB群	今西二郎	29-4-338

【トピックス】

大腸菌の細胞分裂と染色体の分配機構	平賀壯太	29-1-44
森林の価値、協働の力で実現（Ⅰ）	伊藤純子	29-4-343

【コラム】

茶の湯の楽しみ	本庄 巖	29-1-55
断捨離に思う	本庄 巖	29-2-131

【随想】

私の闘病記と健康法（Ⅰ）：急性心筋梗塞と山歩きの生活習慣	山崎和夫	29-2-133
私の闘病記と健康法（Ⅱ）：プロポリス体験記	小川 侃	29-2-138
昭和一桁生まれが思いを馳せる時代の変遷	瀬野悍二	29-3-246
大連の大学を訪ねて	本庄 巖	29-3-255
私の闘病記と健康法（Ⅲ）：ライプツィヒ大学附属病院受診記	小川聖子	29-4-349
「激動の昭和」の記憶（Ⅰ）	山崎和夫	29-4-352

【サロン談義】

サロン談義 13 日本の終末期医療を考える		
コメント 4：終末期医療に対する私の生前遺書	戸松孝夫	29-1-57
コメント 5：健康も命も、先ず真摯な自己管理が前提	萬野善昭	29-1-59
コメント 6：日本の終末期ケアに僧侶の参加を	奈倉道隆	29-1-62
サロン談義 14 先端医療の公的医療保険適用を考える		
問題提起：がん治療薬は日本の財政破たんを招くか	本庄 巖	29-2-141
コメント 1：公的医療保険制度を別の切り口から鳥瞰する	瀬野悍二	29-2-143
コメント 2：オバマケアの功罪－「敬老」売却問題の背景	入江健二	29-2-145
コメント 3：両刃の刃を使いこなす知恵	山岸秀夫	29-2-148
コメント 4：オバマケアのショック	瀬野悍二	29-3-257

【Books 談義】

Books 談義 19 人と食と自然シリーズ 5：中井吉英・本庄 巖編著		
「食と心ーその関係性を解き明かすー」をめぐって		
コメント 7：健康を支える日々の食生活	大野和子	29-1-66
コメント 8：ビタミン B1 と精神機能	瀬野悍二	29-1-67
Books 談義 20 シリーズ・ともに生きる科学：村田翼夫編著		
「多文化社会に応える地球市民教育ー日本・北米・ASEAN・EU のケースー」をめぐって		
コメント 1（内容紹介を兼ねて）：多様な異文化に触れる言語教育	山岸秀夫	29-2-150
コメント 2：国際化社会における共存共栄の教育	上田 学	29-2-151
コメント 3：幼児英語教育をめぐって	本庄 巖	29-2-154
コメント 4：共生のための国際市民教育	大隅紀和	29-3-259
コメント 5：地球市民教育のサイエンス版を	佐藤文隆	29-3-261
コメント 6：グローバル化と国際交流	仁王以智夫	29-3-263
コメント 7：地球的視野をもつ市民の育成	北村友人	29-3-266
コメント 8：地球市民の育成は可能か？	木戸 裕	29-4-356
コメント 9：地球市民教育の可能性ータイと日本のケース	森下 稔	29-4-360
コメント 10：イスラーム世界との共生	西野節男	29-4-364
Books 談義 21 シリーズ・ともに生きる科学：中井吉英 編著		
「生老病死の医療をみつめてー医者と宗教者が語るその光と影ー」をめぐって		
コメント 1（内容紹介を兼ねて）：連歌形式で生老病死を語る	山岸秀夫	29-3-269
コメント 2：編著者に語りかける読後感	岩槻邦男	29-4-369
コメント 3：核心の死生観を連歌形式で「語る」意味	亀山純生	29-4-370
コメント 4：人生の影の部分に光を当てる	西野輔翼	29-4-373

【Books】

マシュー・リーバーマン 著（江口泰子 訳）	29-1-69
『21 世紀の脳科学ー人生を豊かにする 3 つの「脳力」』	
ジェシカ・ワプナー 著（斎藤隆央 訳）	29-1-70
『フィラデルフィア染色体ー遺伝子の謎、死に至るがん、画期的な治療法発見の物語』	
大塚柳太郎 著『ヒトはこうして増えてきたー 20 万年の人口変遷史』	29-1-71
高村 薫 著『空海』	29-1-72

柳沢 一男 著『筑紫君磐井と「磐井の乱」・岩戸山古墳』	29-1-73
三井美奈 著『イスラム化するヨーロッパ』	29-1-74
小川 侃 著『ニコロ・マキアヴェッリと現象学—彼の汚名をすすぐ』	29-1-75
周東美材 著『童謡の近代—メディアの変容と子ども文化』	29-2-157
中川李枝子 著『子どもはみんな問題児』	29-2-158
五木寛之 著『嫌老社会を越えて』	29-2-158
竹之内 禎、川島茂生 編著『情報倫理の挑戦—「生きる意味」へのアプローチ』	29-2-160
ジャレド・ダイヤモンド、レベッカ・ステフォフ 編著（秋山 勝 訳）	29-2-161
『若い読者のため・第三のチンパンジー・人間という動物の進化と未来』	
四方田犬彦 著『土地の精霊』	29-2-162
塩野七生 著『ギリシア人の物語 I—民主政のはじまり』	29-2-163
木田 元 著『哲学散歩』	29-2-164
井村裕夫 著『健康長寿のための医学』	29-2-165
佐藤文隆 著『科学者、あたりまえを疑う』	29-3-271
加藤久和 著『超高齢社会の介護制度—持続可能な制度構築と地域づくり』	29-3-272
小出 剛 著『個性は遺伝子で決まるのか—行動遺伝学からわかってきたこと』	29-3-273
山口謡司 著『日本語を作った男—上田万年とその時代』	29-3-273
橋本陽介 著『日本語の謎を解く—最新言語学 Q & A』	29-3-274
森 達也 著『私たちはどこから来て、どこへ行くのか』	29-3-275
半藤一利 著『B面昭和史 1926—1945』	29-3-276
池内 恵 著『サイクス・ピコ協定、百年の呪縛—中東大混迷を解く』	29-3-277
アレクサンダー・グロスバーク、アレクセイ・ホホロフ 著（田中基彦、鴫田昌之 監訳）	29-4-375
『自然世界の高分子—物理現象から生命の起源まで—』	
河合俊雄 他 4 名 共著『<くこころ>はどこから来て、どこへ行くのか』	29-4-376
鳥海 修 著『文字を作る仕事』	29-4-377
加賀乙彦 著『殉教者』	29-4-378
アトゥール・ガウンデ 著（原井宏明訳）『死すべき定め』	29-4-379
スティーン・ワインバーグ 著（赤根洋子訳）『科学の発見』	29-4-380

【Random Scope】

8 ～ 12 万年前の新人の最古の歯が中国南部で発掘された	29-1-37
笹を主食とするジャイアントパンダのエネルギー消費量は極めて低い	29-1-37
経済的富の不平等が見える社会では不平等が助長される	29-1-65
長期の海面水準と南極氷床の維持には今後数十年の温室効果ガス抑制が必須である	29-1-76
新石器時代の農耕民によるミツバチの利用が土器片の脂質検査によって明らかにされた	29-1-77
動脈硬化症治療薬のアパミシブは抗腫瘍効果を示す	29-2-101
がん遺伝子は周辺の染色体微小欠失変異などで活性化される	29-2-118
母親の食性が胎児の腸管免疫に影響する	29-2-132
草食動物の腸内の真菌叢には多種類のバイオマスを分解する酵素がある	29-2-140
現生人類に見られるネアンデルタール人との混血の遺産	29-2-156
直立原人は肉食と砕いた根菜食を組み合わせでエネルギーを確保した	29-2-166
覚醒と睡眠のリズムは脳間充液のイオン組成と関連する	29-3-177
ヒトの脳の増大進化は高いエネルギー消費によって支えられている	29-3-184
深海の生物多様性は浅海の化学エネルギーに依存している	29-3-219
電子的「神経バイパス」による四肢麻痺疾患の回復	29-3-224
ヒト表皮細胞株が化学物質処理によって心筋細胞に分化する	29-3-258
高脂肪食は腸内細菌の酢酸産生を介して肥満をひきおこす	29-3-270
抗生物質投与後の盲腸内糖質酸化が病原菌を増殖させる	29-3-270
長鎖の RNA が防御免疫の骨髄性細胞の寿命を調節している	29-4-287
細菌感染と細胞内生存に関わる低分子 RNA	29-4-287
ヒトに内在する共生細菌の産生する抗生物質	29-4-290
協和音への好みは西洋文化の産物であって先天的なものではない	29-4-290
脳虚血後、神経細胞は周辺星状細胞からミトコンドリアを移入して回復する	29-4-322
細胞質ミトコンドリア DNA と核内 DNA との協調が健康老化に寄与する	29-4-337
熱帯降雨林の伐採による生物多様性の喪失は林内攪乱で倍増する	29-4-342

気候変化が植物の性比を変える	29-4-348
全地球ウィルスの包括的調査	29-4-368

Vol. 30 2017 年

巻・号・頁

【Editorial】

雑誌・書籍の電子化のメリットとデメリット	内海博司	30-1-05
料理の勧め	小川 侃	30-2-91
AI（人工知能）時代に思う	本庄 巖	30-3-184
新しき酒を新しき皮袋にー 本誌の休刊（英文併載）	山岸秀夫	30-4-273
“No One Puts New Wine into Old Bottles” - Discontinuation of the Publication of “Environment and Health”	Hideo Yamagishi	30-4-275

【特集】

〈長寿の生涯を健康に生き抜く〉		
特集“長寿の生涯を健康に生き抜く”にあたって	奈倉道隆	30-1-08
長寿に向き合う老年医学	佐古伊康	30-1-10
百寿者研究から見た望ましい老いのあり方	権藤恭之	30-1-14
ー百寿者におけるサクセスフルエイジングを求めてー		
高齢期の自律を高める生活支援	奈倉道隆	30-1-24
〈紫外線の健康影響ーその功罪を考えるー〉		
特集“紫外線の健康影響ーその功罪を考えるー”にあたって	小野公二	30-2-94
皮膚がんはDNAの傷痕	錦織千佳子	30-2-95
紫外線による白内障と皮膚老化はアミノ酸の形でわかる	藤井紀子	30-2-103
紫外線とビタミンDービタミンD欠乏性くる病が増えているー	河井昌彦	30-2-111
〈生活の中のリスク〉		
特集“生活の中のリスク”にあたって	中村清一	30-3-186
安全な食べものってなんだろうー食品のリスクを考えるー	畝山智香子	30-3-188
3.11 東日本大震災、福島原発事故を受けて考えたこと	宇野賀津子	30-3-197
被災文化財の劣化とその対策	内田俊秀	30-3-208
〈本誌「環境と健康」30年の歩み〉		
特集“本誌「環境と健康」30年の歩み”にあたって：本誌30年の四季	山岸秀夫	30-4-276
本誌の休刊に思う：アカデミズムからの正しい情報の発信	内海博司	30-4-279
本誌休刊にあたって：パートナーとしての	大東 肇	30-4-281
「京都健康フォーラム」のことなど		
杉田玄白没後200年：『形影夜話』に玄白の心を見る	小西淳二	30-4-284
〈飲酒・喫煙とがん あなたは大丈夫？〉		
特集“飲酒・喫煙とがん あなたは大丈夫？”にあたって	小野公二	30-4-289
本邦における喫煙の健康被害と対策	永井宏樹	30-4-290
ー受動喫煙、肺がんへの影響も含めてー		
アルコール代謝とがんーお酒に弱い人は要注意ー	武藤 学	30-4-300

【いのちの科学プロジェクトシリーズ】

テーマ：少子高齢社会を生きる

49 再稼動原発の安全性と安定したエネルギー源を考える	岸田哲二	30-1-29
50 誰が教育の運営に責任を負うべきか	上田 学	30-2-118
51 生活機能病の予防	山室隆夫	30-3-218
52 超高齢者社会におけるケアのあり方考える	入澤仁美	30-4-305
ーベリーダンスケアイベントの実施の試みを通じてー		

【連載講座】

和の風土と食（XII）：やさしく香り立つ柚子（ゆず）	若井郁次郎	30-1-36
----------------------------	-------	---------

(XⅢ) : うしおの香りと甘みの鳥貝 (とりがい)	若井郁次郎	30-2-127
(XⅣ) : 和食と健康の良き友・茶	若井郁次郎	30-3-225
(XⅤ) : 天日干しで香りとうまみの増すシイタケ (椎茸)	若井郁次郎	30-4-317
みみ・はな・のど (Ⅳ、終講) 息する	本庄 巖	30-1-40
感動的な樹木を観て楽しむ「感動樹木ウォッチング」		
(Ⅳ) : 美樹美林ウォッチング	中村 靖	30-1-45
(Ⅴ) : 史跡樹木ウォッチング	中村 靖	30-2-131
(Ⅵ) : 思い出の樹木ウォッチング	中村 靖	30-3-232
(Ⅶ) : 面白樹木ウォッチング	中村 靖	30-4-322
健康法 うそ? ほんとう?		
(Ⅲ) : 脂溶性ビタミン	今西二郎	30-1-50
(Ⅳ) : コーヒーの功罪	今西二郎	30-2-136
(Ⅴ) : 健康診断 (検診) は受けるべき? 健康診断の意味	今西二郎	30-3-238
(Ⅵ) : 健康法の活用のために	今西二郎	30-4-327
漢字の散歩道 (Ⅷ) : 形 声 字	小南一郎	30-4-336

【トピックス】

森林の価値、協働の力で実現

(Ⅱ) : 協働の概念	伊藤純子	30-1-57
(Ⅲ) : 協働で森林生態系管理に取り組む赤谷プロジェクト	伊藤純子	30-2-142
(Ⅳ、終章) : 赤谷プロジェクトで形成された協働の形	伊藤純子	30-3-245
フッ化ピリミジン系抗腫瘍薬の作用機序と新しい創薬の展望	北尾洋之	30-2-149
がんの免疫療法に反映される DNA 配列の細胞間変異	柴田義幸	30-4-341

【コラム】

タイにおける日本語指導と「筑波大学 CRICED Office」の創設	村田翼夫	30-4-348
日本人と留学生が共生する学生寮	内海博司	30-4-353
— (公財) 京都「国際学生の家」 (HdB) —		

【随想】

「激動の昭和」の記憶 (Ⅱ)	山崎和夫	30-1-63
(Ⅲ)	山崎和夫	30-2-159
(Ⅳ)	山崎和夫	30-3-251
(Ⅴ)	山崎和夫	30-4-358
日本西南端の島々への旅	本庄 巖	30-2-167
西安再訪	本庄 巖	30-3-256
過去の栄光を秘めて素朴に生きる人びと、ポルトガル	山岸秀夫	30-4-364
進化と老化	本庄 巖	30-4-371

【オピニオン】

マキアヴェッリはトランプ大統領をどのように見るのか	小川 侃	30-4-373
---------------------------------	------------	----------

【Books 談義】

Books 談義 20 シリーズ・ともに生きる科学 : 村田翼夫 編著

「多文化社会に応える地球市民教育—日本・北米・ASEAN・EU のケース—」をめぐる

コメント 11 : 多元的教育システム確立の必要性—編著者の感想と考察— 村田翼夫	30-1-66
---	---------

【Books】

盛口 満 著『自然を楽しむ—見る・描く・伝える』	30-1-70
園池公毅 著『植物の形には意味がある』	30-1-71
末木文美士 著『日本の思想をよむ』	30-1-72
竹本修三 著『日本の原発と地震・津波・火山』	30-1-73
松尾 豊 著『人工知能は人間を超えるか』	30-1-74
トマス・ペン 著 (陶山昇平 訳)『冬の王—ヘンリー七世と黎明期のチューダー王朝』	30-1-75

トレヴァー・ロイル 著『薔薇戦争新史』	30-1-76
イタイ・ヤナイ、マルティン・レルヒャー 著（野中香方子 訳）『遺伝子の社会』	30-2-169
永田和弘 著『生命の内と外』	30-2-170
イアン・タッターソル 著（河合信和 監訳）	30-2-170
『ヒトの起源を探して- 言語能力と認知能力が現生人類を誕生させた』	
八木晃介 著『生老病死と健康幻想- 生命倫理と優生思想のアポリア』	30-2-171
入江健二 著『家庭内捨て子物語』	30-2-172
中山健夫 著『医療ビッグデータがもたらす社会変革』	30-2-173
桃崎有一郎 著『平安京はいらなかった』	30-2-174
塩野七生 著『ギリシア人の物語Ⅱ 民主政の成熟と崩壊』	30-2-175
土井淑平 著『民主主義の歴史的考察- 古代ギリシアから現代アメリカまで-』	30-3-259
桂木隆夫 著『公共哲学とはなんだろう：増補版- 民主主義と市場の新しい見方-』	30-3-259
古田武彦 著『「邪馬台国」はなかった- 解読された倭人伝の謎-』	30-3-260
船山 徹 著『仏典はどう漢訳されたのか』	30-3-261
三木成夫 著『内臓とこころ』	30-3-262
森まゆみ 著『子規の音』	30-3-263
アーサー・ビナード 編著『知らなかった、ぼくらの戦争』	30-4-378
東北学院大学 震災の記録プロジェクト 金菱清（ゼミナール） 編	30-4-380
『呼び覚まされる霊性の震災学- 3.11 生と死のはざままで』	
福島利之 著『クルド人 国なき民族の年代記』	30-4-381
片平 孝 著『サハラ砂漠塩の道を行く』	30-4-382
ジョシュア・ハーマー 著（梶山あゆみ 訳）『アルカイダから古文書を守った図書館員』	30-4-382
山本一成 著『人工知能はどのようにして「名人」を超えたのか？』	30-4-383
森まゆみ、松久 寛 著『楽しい縮小社会- 「小さな日本」でいいじゃないか』	30-4-383

【Random Scope】

多様な非翻訳 RNA がメラノーマの薬剤耐性に関わっている	30-1-07
すい臓がん細胞は遺伝子破砕による前がん病変と染色体の倍数化により転移する	30-1-07
ヒトの最大寿命はほぼ 120 歳に固定している	30-1-09
翻訳されない長鎖 RNA の転写が心筋細胞の分化に必須である	30-1-23
世界中に拡散する多剤耐性の非結核性病原菌	30-1-39
自閉症に関与する遺伝子発現調節パターンの大規模な変化	30-1-65
細菌の感染防御免疫システム CRISPR/Cas は感染ファージと共有されている	30-2-93
細菌の適応免疫は感染 DNA の初期断片を標的とする	30-2-93
長鎖非翻訳領域に由来するポリペプチドが損傷した筋肉の再生を促進する	30-2-102
単一細胞 RNA 解析による神経腫瘍グリオーマの遺伝子変異の同定	30-2-110
老化に伴って免疫応答能が転写段階で多様化する	30-2-117
多剤耐性結核菌を感受性にする新しい活性化薬剤	30-2-117
肺は血小板生合成の場であり造血幹細胞の貯蔵所である	30-2-130
造血幹細胞の再生能力はオートファジーによるミトコンドリア除去によって維持されている	30-2-141
傷害部位に局在して働く鎮痛剤の開発	30-2-148
イネの真菌抵抗性と稔性の発現は重複遺伝子領域で調節されている	30-2-166
ヒト遺伝子とほぼ同数のタンパク質に翻訳されない長鎖 RNA が同定された	30-3-187
単一細胞ゲノム解析法の開発	30-3-196
大腸がん幹細胞を標的とした治療の課題	30-3-207
新生マウスの初期感染を防御する腸内細菌、クロストリジウム	30-3-224
線虫で見られる環境情報の世代間伝達	30-3-231
再発する乳がんではがん遺伝子の発現調節遺伝子の変異が頻発する	30-3-237
ジカ熱ウィルスは胎児の脳神経系の発達を阻害して増殖し小頭症を引き起こす	30-3-258
小麦を枯死させるブラジル起源のカビが宿主特異性を失ってアジアまで拡散している	30-3-258
タンパク質に翻訳されない長鎖 RNA が抗がん剤耐性を引き起す	30-4-274
味覚受容細胞から神経系への信号伝達に新しいシグナル分子が介在する	30-4-280
腸内細菌は腸管免疫の体内時計と脂質代謝に関連する	30-4-299
パーキンソン病のレビー小体産生を調節する受容体が発見された	30-4-304
北米大陸のトウモロコシは数千年に亘って緩やかに適応進化してきた	30-4-335

ヒト細胞間のシグナル伝達が腸内細菌と腸管細胞の間でも行われている	30-4-340
殺虫剤のネオニコチノイドが蜂蜜に含まれている	30-4-352
植物の葉の大きさを決める地球の気候要因	30-4-363
自然界の種の多様性が生物資源生産力の源泉である	30-4-370
小腸パネート細胞はオートファジーで抗菌性リゾチームを分泌する	30-4-377